

週刊 Y E A R B O O K

1981
昭和56年

日録20世紀

317

平成10年3月17日発行
(毎週1回発行)第2巻第10号

¥560
講談社



終戦から35年、
「中国残留孤児」の
祖国への旅

「窓ぎわのトットちゃん」
732万5000部!

熟年向け「フルムーンパス」
大ヒットの秘密

チャールズ、ダイアナ結婚!

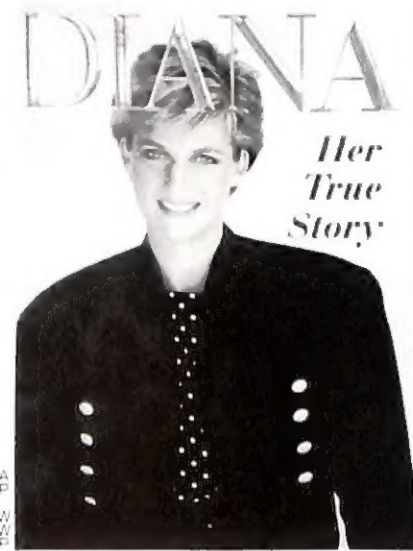
衛星中継で50カ国7億5000万人を魅了
“世紀のロイヤル・ウエディング”!

チャールズ、ダイアナ結婚の「裏側」

ダイアナ元妃の遺産46億円 さて日本の皇室は？

ダイアナ元妃の死後、彼女の遺産が、少なくとも2100万ポンド（約46億円）に達することが、明らかになった。遺産管理をしている弁護士によると、その内訳は、チャールズ皇太子と離婚した際の慰謝料1700万ポンド、慰謝料の利子分300万ポンド、離婚前の個人資産100万ポンド。巨額の遺産を相続するウィリアム（15）、ヘンリー（13）両王子は、その4割にあたる840万ポンド（約18億円）もの相続税を支払うことになる。チャールズ皇太子は、王子らの特別後見人に任命したジョン・メジャー前首相を税金対策にあたらせることを決めた。

ちなみに、昭和天皇の遺産は美術品などが非課税扱い、あるいは国有財産となり、株などの有価証券、預金などの形で運用されてきた金融資産の合計が約18億6900万円。そのうち、現天皇が相続する9億3450万円が課税対象で、相続税額は約4億2800万円だったと推定されている。



◀一九九七年八月の衝撃的な事故死の後、英米で発売されベストセラーとなった『完全版 ダイアナ妃の真実』。

めたカミラ夫人との関係は、実はダイアナとの婚約時代から続き、皇太子の言動からダイアナの知るところとなっていた。いったんは婚約解消も考えたダイアナだったが、皇太子への愛情を消すことはできず、結婚へと踏み切ったのだった。

こうした事実が公になったのは、一九九二年六月に出版された一冊の本からだった。イギリスのジャーナリスト、アン・ドリユー・モートンによる『ダイアナ妃の真実』である。ここには皇太子夫妻の冷え切った生活や、皇太子の不倫に悩むダイアナが何度も自殺未遂をはかり、過食症におちいっていたことなどシヨッキ

ングな事実が明かされていた。この「暴露本」は世界八〇カ国以上で出版され、五〇〇万部を超えるベストセラーとなった。本の反響が引き金となり、二人は話し合いのすえ、同年二月に正式別居を発表。一九九六年に離婚が成立した。

以降は対人地雷禁止運動などの活動にたずさわり、新しい人生を歩んでいたダイアナだったが、一九九七年八月三十一日、パリ・セーヌ川ぞいのトンネル内で起きた突然の交通事故により三六歳の短い生涯を閉じた。そして彼女の死後、初めて明かされた事実があった。別居のきつかけとなった『ダイアナ妃の真実』が、実

は彼女の全面協力により作られたものだったということだ。ダイアナは第三者を紹介して著者の取材を受け、原稿の校正や写真の提供にもかわっていたのだ。ダイアナ自身の言動を新たに掲載したこの伝記の『完全版』は、一九九七年一〇月に英米で発売され、一躍ベストセラーに躍り出た。本の中でダイアナは、結婚式を振り返り「私自身は幸せだったとは思いません」と語っている。世界中の人々が幸せを信じていた花嫁姿のダイアナの笑顔の裏には、花婿の不倫に悩む涙が隠されていたのである。

この『完全版・ダイアナ妃の真実』（早

この『完全版・ダイアナ妃の真実』（早

ングな事実が明かされていた。この「暴露本」は世界八〇カ国以上で出版され、五〇〇万部を超えるベストセラーとなった。本の反響が引き金となり、二人は話し合いのすえ、同年一二月に正式別居を発表。一九九六年に離婚が成立した。

は彼女の全面協力により作られたものだったということだ。ダイアナは第三者を介して著者の取材を受け、原稿の校正や写真の提供にもかわっていたのだ。ダイアナ自身の言動を新たに掲載したこの伝記の『完全版』は、一九九七年一〇月

▲拳式後、ロンドン中の教会の鐘が鳴り渡る

川書房)の日本語版翻訳者・入江真佐子氏は言う。

「この本は、九二年の出版当時は『暴露本』扱いされましたが、実は精神的に追い詰められたダイアナの心の叫びだったのです。この本がなければ、今もひよつとしたら二人は愛のない夫婦生活を続けていたかもしれません。しかし離婚後、慈善活動に自分の道をみいだしたダイアナは、結婚生活では得られなかった『真の自分』と出会い、生き生きと活躍しました。彼女の死に世界中があれほど悲しんだのも、元皇太子妃の枠を越えて弱い立場の人々の側に立って輝く彼女にひかれていたからだと思います」

そしてダイアナは、人々の心に永遠に残る「イギリスの薔薇」となったのだ。

英国王室 PANA 通信社

中を、馬車でバッキンガム宮殿に向かう二人。この馬車は、1947年のエリザベス女王の結婚の時にも使われた。 REX FEATURES PPS

同じ頃、式場のセントポール大聖堂前の路上には、見物場所を確保しようとする市民や観光客が続々と寝袋を持参して泊まりこみ、翌二八日夜には前夜祭が催され、二万発の花火が打ち上げられて、国民の祝賀気分を一層盛り上げた。

そして結婚式当日。色とりどりの花やリボン、旗などで飾られたバッキンガム宮殿から式場までの沿道は一〇〇万人の観衆で埋めつくされた。午前二時から始まった結婚式には日本の皇太子夫妻をはじめ、ナンシー・レーガン米大統領夫人やミッテラン仏大統領ら各国元首と王室代表など約二五〇〇人が出席。祭壇の前で二人はお互そかに誓いの儀式と指輪交換をし、式をとり行う大主教が結婚の成立を宣言したのである。

新婚の二人が馬車でパッキンガム宮殿に向かう沿道では、大観衆が手にした英国国旗を振りながら歓声を上げ、二人を祝福した。結婚式の模様は五〇カ国に衛星中継され、世界中で約七億五〇〇〇万人の人人々が、この新しい皇太子妃の誕生を興奮とともに見つめていた。

誰もが、今、ダイアナは幸せの絶頂にいると信じていた。しかし、事實はそうではなかったのだ。

一冊の本の出版によつて
彼女の運命が変わつた

結婚式の数日前、二人はセントポール大聖堂で式のリハーサルを行った。しかしその最中、ダイアナが突然、泣き出してしまったことはあまり知られていない。それは、皇太子の恋人、カミラ・パーカー・ボウルズ（三四）の存在が頭をよぎったからだ。後に、皇太子自身が認へ

終戦から三五年、国交断絶二三年を超えて 「生き別れた」ものたちの悲願実る！ 「中国残留孤児」四七人の祖国への旅

昭和五六年三月二日、「中国残留孤児」の一行四七人が、初めて祖国日本の土を踏みしめた。多くが貧しい「満州移民」の子として生まれ、終戦時、ソ連の参戦を知り退却した関東軍に見捨てられて、混乱の中で家族と生き別れたのである。肉親を求め、祖国を夢に見続けた孤児たちの身に、三五年の月日が流れていた。

孤児四七人が訪日 二六人が身元確認

「私は終戦当時、戦場で負傷し奉天（現・瀋陽）の病院にいたが、近くの日本人収容所に出かけ、その惨状を目のあたりにしました。収容所は着の身着のままの女性、子ども、老人ばかり。壮年の男たちが兵隊にとられたからです。昭和二〇年八月九日に参戦したソ連兵の殺戮や略奪から逃れた人たちです。途中でぐれ中国人に拾われたり、お互い生き延びることを願い、母親や身寄りを失った子どもが中国人に売られることもありました」

こう語るのは、昭和四七年の日中国交回復後、中国からの帰国者を支援し続けてきた「中国帰国者三互会」の現会長・和泉清一氏（現・七三歳）である。

引揚げ者名簿からも抹殺され、まさへ

成田権太郎さん（六〇）の長女・信子さんと判明した。成田さんは昭和・五年に吉林省琿春県の開拓地に入植、終戦後ソ連の収容所に入れられたが、妻のイエさんが風邪で倒れ、食べ物がなかったため、中国人に預けたもので、顔が母親とよく似ていることが決め手となった。

その後も面接調査は東京、大阪、京都で三月一五日まで続けられ、肉親が判明したのは二六人、二一人の孤児たちの身元は確認されないまま、三月一六日一時一五分、病気で入院している上加藤さんをのぞく四六人の孤児たちは、日本航空783便で日本を離れたのである。

二〇七人が帰国 自立への苦難の道

「中国残留孤児」たちの本格的な身元調査が始まったのは、昭和四七年九月の日中国交回復からであった。身元の確認は、孤児たちからの手紙、「未引揚げ邦人索引



山口タカシ

▶中国へ帰るため成田空港に向かうバスの窓から、祖国の人々との別れをおしむ孤児たち。昭和五七年三月七日、第2次訪日調査団の一行。

に「棄民」となった推定三〇〇〇人の「中国残留孤児」が、肉親捜しのため、最初に訪日したのは昭和五六年三月二日。その第一陣四七人は、黒竜江省や吉林省など中国東北地方（旧・満州）に住む人たちを中心に、年齢が三五歳から四三歳までの男性三三人、女性二四人であった。

三月二日、午後二時三五分、中国民航927便が成田空港に到着。グレーや紺色の人民服を着た孤児たちは、空港ロビーでカメラのフラッシュをあびた後、空港内の控え室で記者会見にのぞんだ。「三五年間、自分の親のことを忘れたことはありません。夢にまで見た祖国に帰ることができ、興奮しています」

孤児を代表して何紅さん（三五）はこ

う語った。そしてその後、孤児たちの一行は宿舎と身元調査会場となる東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターに向かったのである。

滞在日程や調査の進め方などの説明を受け、厚生省の係官八人による面接調査が始まったのは訪日三日目の三月四日であった。

最初に肉親が確認されたのは、ウイグル自治区に住む陳家東さん（三八）。父親は神戸市から駆けつけた富井英男さん（六二）で、中国人養父の弟が当時富井さん経営のタバコ会社のボーイをしており、陳さんに父と母の名前を教えていたため、身元が明らかになった。

また、王素潔さん（三七）は青森県の



▲すでに没していた父の墓参りをする孤児。第1次訪日にて。 林昭通信社



▲身元が判明し、姉と肩を抱き合ってうれし泣きにむせぶ孤児。5歳の時、吉林省で中国人に預けられた。昭和56年3月9日。読売新聞



▲まだ幼かった孤児たちには、たしかな記憶がない。身につけていた写真がとほしい手かかり

女たちの肖像

稲葉真弓

ジパン姿の若者も弔問に “だいこんの花”市川房枝、 「女性解放」一筋の生涯に幕

生涯を女性解放運動・差別撤廃運動に捧げた参議院議員・市川房枝が、心筋梗塞で亡くなったのがこの年の二月一日。翌日、婦選会館で行われた通夜には、政治家や婦人団体関係者のほか、主婦、ジパン姿の若者など約二〇〇人が弔問に訪れ、大正、昭和にかけ女性の地位向上をめざして闘った愛称「だいこんの花」の人柄と八七年にわたる足跡をしのんだ。棺にはいかにこの人らしく、前年の昭和五五年にコペンハーゲンで署名式が行われた国連の「女子差別撤廃条約」のコピーと、愛用の眼鏡、筆記用具が納められた。

市川房枝の一生は、女性の意識向上、男女平等社会の実現と、つねに女性にスポットをあてた思想に貫かれているが、その原点になったのが、「女に生まれたのが因果だった」という母親のひとことだった。

明治二六年、愛知県明地村（現・尾西市）の農家に生まれた彼女は、男三人女四人の三女。父親は働きもので実直な人だったがしばしば母親を殴った。そんな父親と、黙

って耐える母親を見て、幼な心に「なぜ女に生まれたのが因果なのか、なぜ女は耐えなければならぬのか」という思いが焼きつけられ、生涯の課題となった。

勉学好きの彼女は大正二年、愛知県立女子師範学校を卒業後、高等小学校の訓導になったが、女子がお茶汲みをやらされるのに疑問を持ち退職。大正六年、「名古屋新聞」（現・「中日新聞」）の女性記者第一号となり、翌年退職し念願の上京をはたした。働きながら山田嘉吉塾で英語を学び、ここで「青鞥」の平塚らいてうと知り合い、女性も政治集会に出られる社会を作ろうと治安警察法改正運動に参加、まもなく長兄の紹介でアメリカに渡った。この時期、全米婦人党会長のアリス・ポールと出会い、「労働運動は男にまかせ、女の仕事は女自身で、ぜひ婦人運動をしろ」という言葉に大きな影響を受けた。

以後の彼女の活動は婦人参政権の獲得、新日本婦人同盟創立、婦選会館設立など枚挙にいとまがない。私生活では秘書のミサオを養女にし、生涯独身を貫いたが、昭和二八年参議院議員に当選した後は政治家として活躍。人なつこい笑顔と、差別、政治浄化に体あたりで立ち向かう潔癖な姿勢が共感を呼び多くの支援者を得た。つねに「権力の上に眠るな」と言い続けた彼女の最期の言葉は「富士山がきれいね」。墓石には「いいい」という三文字が刻まれている。

▼昭和55年参院選でトップ当選。



共同通信社

勝者・敗者

阿部珠樹

ハンマー投げの“中年の星” 室伏重信が二〇年ぶりに 自己の日本記録を更新！

陸上の投てき種目はトラック種目に比べて選手寿命が長い。三〇代の一流選手はけつて珍しくない。しかし、ハンマー投げの室伏重信の息の長さは飛び抜けていた。

室伏が日本の第一人者に躍り出たのは昭和四六年、二五歳の時である。この年、三度も日本記録を出し、周囲をあっと言わせた。それまでの室伏は、日本の先輩、菅原武男、石田義久の蔭に隠れて、「第三の男」「未完の大器」などと呼ばれていた。それが一度日本記録を出したことで、一気に素質を開花させたのだ。そして翌四七年のミューンヘン・オリンピックではベストエイトに食いこみ、いよいよ室伏時代の到来を感じさせた。

ところが、その頃から室伏の足踏みが始まる。二五歳の時の日本記録をなかなか更新することができず、いつのまにか年齢を重ねてしまっている。

精進しなかったわけではない。会社員から大学の教員となり、独自の筋力トレーニングや名人芸の域と言われた三回転ターンに磨きをかけたものの、どうしても壁を破ることができなかったのである。それでも室伏は飽くことなくハンマー投げに打ちこんだ。そしてついに壁を破る日が来

た。この年、昭和五六年六月二一日、小田原で行われた実業団・学生対抗陸上で、ついに一〇年ぶりに自分の日本記録を書き替えたのだ。記録は七十一・三六。従来の記録を二つも更新する大記録だった。

室伏の年齢は三五歳になっていた。すでに中年と言ってもよい。一〇年もの間隔をおいて、自己の記録を更新するなど、陸上はもとより、ほかの競技でも考えられないような快挙と言える。

だが室伏の挑戦はこれで終わらなかった。なおも自己の限界に挑み続け、この後、六度にわたって日本記録を更新する。最後の日本記録は七五・九六にまで伸びていた。三八歳の記録だった。第一人者として、これほど息の長い活躍を続ける選手は、今後、現れることはないだろう。



共同通信社

1981

フォト+日録で再現する365日

「ハチは二度刺したら死ぬ」、ロッキード裁判での被告前夫人の言葉が流行語になる。中国残留孤児の初来日、神戸・ポートピアの開港、オンラインによる金銭詐欺……。貿易黒字は摩擦を増大させ、若い女性たちは「ウッソー」「ホントー？」で会話をした。

▲真志堅用高(25)、V14ならす(3月8日)放題。沖縄で行われた世界Jブライ級タイトル戦で、メキシコのヨロシスに12回KO負け。金平会長の白いタオルが飛んだ。4年5ヵ月間守った王座を失い、8月に引退。



日録 20世紀1981

1月



▼レーガン、新大統領に就任(1月20日)宣誓の後、就任演説で活力に満ちた「米国の再生」を訴えた。その直後、テヘランの米大使館の人質解放のニュースが流れた。写真は祝賀舞踏会でナンシー夫人と。

▲創価学会恐喝事件(1月24日)警視庁は顧問弁護士を逮捕。機密や醜聞をネタに3億円を入手、さらに5億円を要求したという。名誉会長・池田大作が事情聴取を受けた(写真)。昭和60年、有罪判決。



ロイター・サンテレフォト



朝日新聞社

▼貴ノ花引退(1月17日)初場所4日目から3連敗、持ち前の粘り腰が影をひそめていた。30歳。大関在位50場所は新記録。後に二子山部屋を率い、息子を横綱貴乃花に育てた。写真は実兄の元横綱若乃花。

▼京都・伏見工高初優勝(1月7日)東大版の花園ラグビー場で行われた全国高校ラグビー決勝戦は、戦後初の関西勢同士の対決。伏見工が残り1分で決勝トライを奪い、大阪工大高に辛勝。



朝日新聞社

▲雪の中で立ち往生(1月7日)前年末から、日本海側を中心に「三八豪雪」に次ぐ大雪に見舞われ、各地で被害が相次いだ。写真は岐阜県の越美南線美濃白鳥駅で雪帽子の列車。

▼江青(69)に死刑判決(1月25日)北京で開かれていた「四人組裁判」が結審。かつて中国の最高権力者・毛沢東の夫人だった江青の、「革命無罪」の絶叫が法廷に響いた。



新華社・中国通信

昭和56年1月

- 1 (木) ●人民日報「華国鋒の経済失政の責任追及」●民法改正施行。配偶者遺産相続が二分の一に。
- 2 (金) ●秦の始皇帝陵から銅甕発見と北京放送報道。
- 3 (土) ●環境庁、初の鳥類繁殖分布調査結果を発表。
- 4 (日) ●厚生省、保健衛生基礎調査。気分転換の方法第一位は、男性は酒、女性はおしゃべり。
- 5 (月) ●通産省、韓国への武器輸出の疑いで「社聴取」●閣議、一月七日を「北方領土の日」と決定。
- 6 (火) ●閣議、初めて「二〇〇円を罰する」●円相場、初めて「二〇〇円を罰する」。
- 7 (水) ●ポーランドの自主労働「連帯」、週休二日制、週四〇時間労働の即時実施を要求。
- 8 (木) ●自治体の七割が空き缶公害に迷惑と環境庁。
- 9 (金) ●トヨタ、MGE社と技術協力契約に調印。
- 10 (土) ●瀬戸内寂聴、徳島市で「寂聴塾」を開講。
- 11 (日) ●川上紀一千葉県知事、選挙で不動産業者から五〇〇万円受領と判明(2月16日辞表提出)。
- 12 (月) ●華道の池坊が四億円の所得申告をれと判明。
- 13 (火) ●工業技術院、超伝導素子SSDを開発と発表。
- 14 (水) ●帝国興信所、前年倒産件数は史上二位と発表。
- 15 (木) ●国鉄、東京・野・新宿駅に喫煙コーナー開設。
- 16 (金) ●三重県長島町で猟銃男が現金輸送車を襲撃。
- 17 (土) ●動燃東海再処理工場、本格的な操業を開始。
- 18 (日) ●ヨーコ・オノ、ジョン・レノンの死後四〇日目のメッセージ広告を世界九紙に発表。
- 19 (月) ●中国、民主安定政策優先のため新日鐵に宝山製鉄所二期工事中止を通告。
- 20 (火) ●イラン、米大使館人質を四四四日ぶりに解放。
- 21 (水) ●潜水調査船「しんかい2000」進水。
- 22 (木) ●警察庁、初の校内暴力対策会議を開く。
- 23 (金) ●金大中、上告を棄却され死刑確定。閣議、無期懲役に減刑(25日韓国の戒厳令解除)。
- 24 (土) ●創価学会が告訴していた元顧問弁護士・山崎正友、恐喝・同未遂容疑で逮捕。
- 25 (日) ●中国の四人組裁判で江青、張春橋に死刑判決。
- 26 (月) ●日加合併の北極石油会社設立発起人会、開催。
- 27 (火) ●最高裁、村長交代で企業誘致取り消した沖縄県宮野原村に損害賠償支払いを命じる。
- 28 (水) ●札幌に一年ぶり豪雪。積雪九七センチを記録。
- 29 (木) ●帝銀事件の平沢貞通と救済会事務局長の長男の養子縁組が成立。再審請求継続のため。
- 30 (金) ●日産、英での小型車生産で英政府と合意。
- 31 (土) ●島田陽子、「将軍」でゴールデン・クロウフ賞テレビ・ドラマ部門主演女優賞を受賞。



共同通信社



朝日新聞社

▲横綱輪島、引退(3月10日)「力がなくなった」と11年間の土俵生活に別れ。33歳。優勝14回。「黄金の左」による投げは強烈だった。師匠・花籠親方の長女と結婚し、いったんは花籠部屋を継ぐが、昭和61年プロレス入り。

▲ピンク・レディーさよなら公演(3月31日)独特の振り付けで「U F O」などのヒット曲を次々に飛ばしたミー(左)とケイの二人が、東京・後楽園球場の約3万人の聴衆の前で最後の熱唱を見せた。

▼東京都「ベビーホテル」一斉点検(3月20日)無認可施設で乳児死亡が絶えず、貧しい保育行政が指摘された。6月の厚生省発表では94パーセントに達しないなどの問題があった。



▲レーガン米大統領狙撃される(3月30日)ワシントンで、至近距離から撃たれ重傷。犯人は25歳の白人学生でその場で逮捕されたが、後に心神喪失状態にあったとされて無罪となった。



▲「ノーパン喫茶」初摘発(3月8日)大阪府警南署が、女性に薄い下着1枚でコーヒーを運ばせていた南区の喫茶店「トップレス」を、公然猥褻容疑で捜索。未成年のウエイトレスら保護した。



▲「五つ子」、名づけ親と対面(3月5日)鹿児島市立病院で誕生して以来、全国に明るい話題を提供。初の帰省となった鹿児島県徳之島では、名前に1字ずつをもらった「長寿世界」115歳の泉重千代さんを訪ねた。

朝日新聞社



読売新聞社

▲ローマ法王パウロ2世来日(2月23日)歴代法王で初。「アリの町」ゼノ修道士を激励し、24日には天皇を表敬訪問(写真)。武道館で若者と対話集会するなど「行動する法王」らしい4日間だった。

▶川上紀一千葉県知事、辞任(2月16日)7年前の知事選で不動産会社から5000万円を受け取り、利権を約束した書面に署名したことが明るみに出て約1ヵ月。しかし「金権」はついに認めなかった。

▶中国の楼閣遺跡で少女ミイラ発見(2月14日)「解放日報」が、前年11月に発見され、金髪で愛らしい顔立ち、すらりとした姿態などと報道。残された毛織りの衣類から、約2000年前のものだと判明。



毎日新聞社

▲別府大分毎日マラソンで宗兄弟が1、2位(2月1日)746選手がスタート、40キロ付近でスパートした兄弟が他を引き離した。兄の茂(左)が2時間11分30秒、弟の猛は2秒遅れ。



時事通信社

▲日劇フィナーレ(2月15日)昭和8年以來のレビューの殿堂も、観客の志向の変化に対応できなかった。1月28日から始まった最終公演では、笠置シズ子ら最後の舞台上に上がった。



朝日新聞社

▲極右軍人、スペイン国会占拠(2月23日)軍事政権樹立を叫び、150人が開会中の議場に乱入。カルロス国王がクーデター反対を表明し、18時間後全員投降した。写真は演壇上の指揮官デヘロ中佐。



共同通信社

昭和56年2月

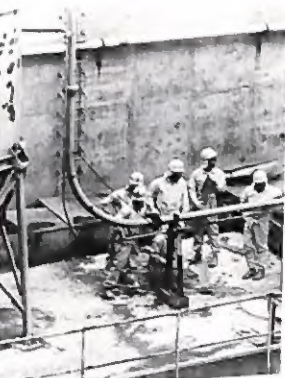
- 1 日 竹田五郎議長が雑誌で徴兵制廃止の政府見解に異議、防衛費一割増を批判と判明
- 2 日 日本旅行業協会、買春ツアーを企画した日本エア・ツリストの除名を決定
- 3 日 高松市の平均身長が「七〇」突破と東京都「NHK、ロッキード事件五年」特集で三木武夫元首相のコメントを放映直前に削除
- 4 日 日本消費者連盟、使い捨てカイロに火傷の危険があると品質規格の設定を厚生省に要望
- 5 日 文部省、初めて建国の日記念式典を後援
- 6 日 東京中野区で初の教育委員選挙の投票開始
- 7 日 経団連など経済五団体、行革推進五人委結成
- 8 日 早大の加藤一朗教授、直線を一歩で歩くロボットW.L.G.D.R.の公開実験を行う
- 9 日 隠し寄付金の北里大で理事長・理事全員辞任
- 10 日 喫煙者が男八四万、女三八万減少と専売公社
- 11 日 日本消費者連盟、使い捨てカイロに火傷の危険があると品質規格の設定を厚生省に要望
- 12 日 文部省、初めて建国の日記念式典を後援
- 13 日 東京中野区で初の教育委員選挙の投票開始
- 14 日 経団連など経済五団体、行革推進五人委結成
- 15 日 早大の加藤一朗教授、直線を一歩で歩くロボットW.L.G.D.R.の公開実験を行う
- 16 日 隠し寄付金の北里大で理事長・理事全員辞任
- 17 日 喫煙者が男八四万、女三八万減少と専売公社
- 18 日 日本消費者連盟、使い捨てカイロに火傷の危険があると品質規格の設定を厚生省に要望
- 19 日 文部省、初めて建国の日記念式典を後援
- 20 日 東京中野区で初の教育委員選挙の投票開始
- 21 日 経団連など経済五団体、行革推進五人委結成
- 22 日 早大の加藤一朗教授、直線を一歩で歩くロボットW.L.G.D.R.の公開実験を行う
- 23 日 隠し寄付金の北里大で理事長・理事全員辞任
- 24 日 喫煙者が男八四万、女三八万減少と専売公社
- 25 日 日本消費者連盟、使い捨てカイロに火傷の危険があると品質規格の設定を厚生省に要望
- 26 日 文部省、初めて建国の日記念式典を後援
- 27 日 東京中野区で初の教育委員選挙の投票開始
- 28 日 経団連など経済五団体、行革推進五人委結成

昭和56年3月

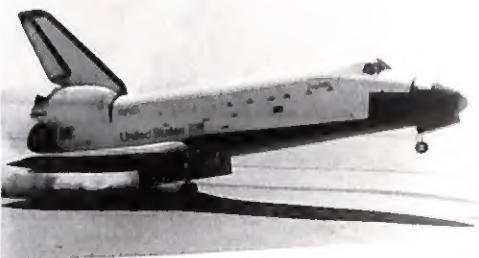
- 1 日 静岡市のビキニ被曝記念集会で原水禁運動団体が一年ぶりに統一集会
- 2 日 中国残留孤児四七人、初来日(二六八判明)
- 3 日 日中渡り鳥保護協定調印、捕獲禁止など
- 4 日 国立大二次試験、東京学芸大では水泳の実技、岡山大でCM小論文など内容多彩に
- 5 日 癌が脳卒中を抜き初めて死因の一位と判明
- 6 日 大阪の喫茶店「トップレス」、公然猥褻で摘発
- 7 日 厚生省、過去三年間で五〇人が死亡した全国のベビーホテル約六〇〇カ所を一斉検査
- 8 日 プロボクシング「フライ級世界王者の具志堅用高、一四度目のタイトル防衛に失敗
- 9 日 都立高の入学辞退者が六〇〇人を超える
- 10 日 閣議、徴兵制廃止の統一見解を決定
- 11 日 国鉄赤十字線七の廃止を定めた施行令公布
- 12 日 黒柳徹子「恋七のトットちゃん」発売
- 13 日 静岡地裁、伊東市で捕獲のイルカを逃がしたカナダ人のグリーンピース活動家に有罪判決
- 14 日 後楽園球場のカラー電光掲示板、点灯式
- 15 日 アニメ映画「機動戦士ガンダム」封切
- 16 日 ベトナム難民青年、東京農工大に合格
- 17 日 大阪に新交通機関、南港ポートタウン線開業
- 18 日 臨時行政調査会(会長・土光敏夫)初会合
- 19 日 四国最大のスーパー・フジでパートタイマー六〇〇人が「準社員労働組合」を結成
- 20 日 自民党議員二五九人が「みんなて靖国神社に参拝する国会議員の会」結成
- 21 日 浜岡原発増設の公聴会、五千余人が抗議デモ
- 22 日 神戸ポートアイランド博覧会開幕
- 23 日 香川県尾道で仁尾太陽博覧会
- 24 日 防衛大五期生の任官拒否が過去最高四二二人に
- 25 日 米でベトナム症候群の実態発表、帰還兵の三分の一以上が幻覚などに悩む
- 26 日 最高裁、日産の男女定年差別は無効と判決
- 27 日 朝日世論調査で日米安保評価が初の五割突破
- 28 日 警察庁、全国二〇の中・高校が校内暴力に備え卒業式に私服警官の校内警戒要請を発表
- 29 日 米人のグリーンピース活動家、千葉県の捕鯨船の捕鯨に顔を出し抗議行動
- 30 日 早大商学部事務員が学生の成績表偽造と判明
- 31 日 行政管理局、訪問販売実態調査結果を発表
- 32 日 トラフルの四割は英語、学習教材
- 33 日 レーガン米大統領、学生に狙撃され重傷
- 34 日 ピンク・レディー、解散公演



▲東大、早大から勝ち点(4月19日)神宮球場で行われた東京六大学野球で、東大が対戦史上初の連続完封勝ち。投手・国友が初本塁打。商学部成績原簿偽造事件の影響か、早大に元気がなかった。



▲敦賀原発、放射能もれ(4月18日)福井県の環境調査から一般排水路への流出が判明。また前月には作業員ら56人が被曝し、それを隠していた。原因は施設の構造的欠陥と人為的ミスと断定。



▶米スペースシャトル「コロンビア号」帰還(4月14日)12日に打ち上げ、予定どおり地球を36周して、世界初の再使用可能有人宇宙船の任務を完了。宇宙開発実用化時代を告げる画期的な出来事だった。



光緒二十九年

▶蘇った白鳳の美(4月1日)
奈良・薬師寺で西塔落慶法要。1528年に全焼して以来失われていた東塔との“均衡の妙”が再現した。建築費の約15億円は、全国100万人の写経勸進の積み重ねだった。



研究新聞社

▲マザー・テレサ講演(4月26日)
「世界宗教者平和会議」などに出席のため初来日。東京・四谷の上智大で学生たちに「愛は行動です」などと訴えた。インドで貧民救済を続け、1979年ノーベル平和賞を受賞していた。



11

▼靖国神社に自民議員ら200人
参拝(4月22日)春季例大祭の天皇の勅使参拝にあわせ、中曽根
行政管理庁長官ら閣僚を含む大
集団が参拝。政府は、靖国参拝
は「私的な心の問題」との見解を
出していた。



新加坡新報



朝日新聞社

▲旧大阪砲兵工廠本館取り壊し(5月2日)大阪城内にあり、明治3年建設の重文級と目された赤煉瓦の建物で、市民の間では保存運動が起こっていた。結局、跡地を公園にする市の計画をくつがえすことはできず、“戦争の遺物”がまた消えた。



每日新聞社

◀ミニヤコンカ峰で日本
隊8人死亡(5月10日)北
海道山岳連盟日中友好隊
隊員25人が、四川省側
のヒマラヤの高峰(755
6メートル)へ。頂上直
下で数珠つなぎのまま転
落。日本の海外登山史上
最悪の遭難となった。写
真は帰国した同隊一行。



ロイター サンテレフト

▶フランスに左翼政権誕生(5月10日)「変化と新しい政治」を掲げた社会党前第一書記ミッテラン(64)が、大統領選で現職のジスカールデスタンに大差をつけて勝利。23年間続いた保守政権に終止符を打った。左は夫人。



共同通信社

▼京都に初の地下鉄、烏丸線開業(5月29日) 京都一北大路間6.6キロを13分でつないだ。8駅すべてに身障者用トイレを完備。近鉄京都線乗り入れのため、架線集電方式を採用。写真は華やかな一番電車。



朝日新聞社

▼「連帯」議長ワレサ来日(5月10日)ポーランド労働者の英雄が工場見学、講演などを行い、「ワレサ・フィーバー」を起こした。写真は、車中で修学旅行の女子高生たちと。

証言・あの日この日
瀬島龍三 (69)

246

さつがあった。並々ならぬ決意をしていることがうかがえた（瀬島龍三『幾山河』）

この日、臨時行政調査会（第2次臨調）^{りんぎょうじょう}が、前経団連会長・土光敏夫を会長に、正式に発足。瀬島龍三も委員の一人として出席する。瀬島は、戦時中、大本営参謀本部勤務のエリート軍人だったが、戦後ソ連に抑留され、シベリアで強制労働に従事。帰国後は伊藤忠に入社、商社マンとして活躍^{活躍}をふるう。その戦略的頭脳と行動力に目をつけたのが、行管庁長官・中曽根康弘だった。やがて、このコンビによって国鉄の民営化が実現する。（山崎行太郎）

昭和56年5月

- 1 (金) ●乗用車の対米輸出、一六八万台に規制で合意
- 2 (土) ●パリのロタン美術館で佐藤忠良彫刻展開催
- 3 (日) ●世田谷区で家庭内暴力の高校生を父親が絞殺
- 4 (月) ●オンシアター自由劇場 斎藤操作「上海ハンスキング」を上演(31日)
- 5 (火) ●前年二月誘拐された名古屋市の女子大生の遺体を発見
- 6 (水) ●早大商学部、不正入学 卒業の五五人を除籍
- 7 (木) ●三菱中心にサウジアラビア石油化学会社設立
- 8 (金) ●日米首脳会談、共同声明に「同盟関係」と明記
- 9 (土) ●美濃郡前都知事ら、東京 大阪湾に「三」の島を作る「フエニックス計画」反対集会開催
- 10 (日) ●仏大統領に社会党のミツラン当選
●北海道ウトナイ湖に日本初のサンクチュアリ(野鳥の聖域) 開所
- 11 (月) ●成田空港燃料輸送の国鉄鹿島線で橋桁切断
- 12 (火) ●在日米軍と海上自衛隊、秋田沖で一〇年ぶり合同演習(漁網切断続出し22日演習中止)
- 13 (水) ●ヨハネ・パウロ二世、狙撃され重傷
- 14 (木) ●東京・麻布で米軍宿舎建設反対の住民三〇〇人が資材搬入を阻止
- 15 (金) ●免田事件の再審開始。初の死刑囚の再審
- 16 (土) ●日米共同声明をめぐる紛糾で伊藤外相辞任
- 17 (日) ●ライシャワー米元駐日大使、核搭載艦の日本寄港認める(22日ジョンソン元米国務次官一九六一年まで岩国港に常駐と表明)
- 18 (月) ●下関沖で引揚げの金塊、拾い主三人に返還
- 19 (火) ●前年は交通事故死が一〇年ぶり増加と総務庁信じ市民敗れたと名誉市民章授上を表明
- 20 (水) ●辻三前佐世保市長、核米艦寄港問題で政府
- 21 (木) ●ソ連のモデル四人、文化学園の文交会に参加
- 22 (金) ●鉄鋼大手のコンピュータ進出急発化と新聞に
- 23 (土) ●ロリンチ監督「エレファントマン」封切
- 24 (日) ●原子力船「むつ」、むつ市閩根浜の母港化決定
- 25 (月) ●サラリーマンの七割が、給料安くても転職しない」と都立労働研究所調査
- 26 (火) ●海上保安庁、プレートテクト(フス理論実証)
- 27 (水) ●北里大の田口教授、羊膜使用レインターフェロン(ウイルス抑制物質)生産に成功と発表
- 28 (木) ●古墳時代の群馬県三ツ寺遺跡の発掘開始
- 29 (金) ●京都初の地下鉄、烏丸線(京都 北大路間開業)
- 30 (土) ●ハンクラテシユ大統領「ライマン」暗殺
- 31 (日) ●本田技研、米で車禍に欠陥と交通事故損害賠償を提訴され七五万 支払いで示談成立



朝日新聞社

▲増田明美、日本新(6月7日)東京・国立競技場で行われた第4回アジア陸上競技大会1万メートルで、ロー(ニュージーランド)を破り日本新で優勝。高校3年生だった。



朝日新聞社

▲米空母「ミッドウェー」、横須賀入港(6月5日)元駐日大使ライシャワーの発言で表面化した「核持ちこみ疑惑」渦中の入港だったため、革新諸団体などの反対派がボートをつらね、抗議行動を展開した。



A P W P

▲バリ人肉事件の日本人留学生逮捕(6月15日)求愛を拒否されたオランダ人女性を殺害、死体の一部を食べた。犯行時、心神喪失状態にあったとして不起訴になった。

▶白昼の通り魔(6月17日)東京・深川の路上で幼児を連れた母4人が包丁で刺されて死亡、さらに二人が重軽傷。写真は連行される犯人。覚醒剤の常用者だった。



新華社 中国通信

▲胡耀邦主席が誕生(6月29日)中国共産党六中全会で近代化をめざす胡、鄧小平を中心とする新体制が確立。文革否定の「歴史決議」採択。かつて毛沢東に登用された華国鋒主席は副主席に降格された。



朝日新聞社

▲過激派ゲリラ、運輸庁舎焼く(6月8日)東京・千代田区霞が関の庁舎脇に停車してあった幌つきトラックから火炎が吹き出し、建物の壁面を焦がした。車の脇に「ミッドウェー」寄港阻止、中核派と染め抜いた旗があったことなどから、中核派の犯行と断定された。

「現場」を歩く 山本徹美

神戸

未来都市「ポートアイランド」に見る自治体商法の「収支決算」



▲現在のポートアイランドから、北側に三宮、六甲山系をのぞむ。但馬一画

昭和五十六年三月二〇日、神戸市が建設を進めてきた港湾埋め立て造成地「ポートアイランド」で、「ポートピア'81」博覧会が開幕した。

ポートアイランドは、昭和四十一年に着工。須磨区西北部にある六甲山系の丘陵を削り取り、その土砂を埋め立てに使用した。五年度までに八〇〇万立方メートルを埋め立て、四三六ヘクタールを造成。この計画に

かかった総工事費は二二〇〇億円。かたや、山を崩した場所は昭和四八年から宅地として分譲、高倉台団地に続いて横尾団地が売り出される。これにより市には合計約五〇〇億円が入る。

「それは収入ではなく原価処分であり、トータルで赤字を出さないための方策」と、神戸市は説明するが、その「株式会社」発想はポートピアにもいかになく発揮されていた。同会場には、国内企業約五〇〇社が出展、地元および地方自治体などが約二二〇、海外からも二七カ国が参加。官民一体のイベントは、地方博にしては意外と反響を呼び、九月一五日の閉幕までに入場者は一六二〇万二七五二人におよんだ。

主催者側の純益は約六五億円。うち四五億五〇〇万円が神戸市に寄付され、ここでも利益を上げたのである。

人影まばらな未来都市

三宮から無人輸送車ポートライナーに乗ってポートアイランドに行ってみた。ポートピア会場は、ファッションタウンと称されるオフィスビル街に変貌していた。平成七年に発生した阪神大震災の痕跡はもう、どこにも見当たらない。某社受付嬢が言う。

「幸いに死傷者は出ませんでした。が、地盤沈下と液状化のせい、どこかの会社も一階フロアは黄色い汚泥にまみれ、処理に追われて大変でした」

街にはあまり人影がなく、閑散とした雰囲気が

毎日新聞社



▲昭和五十六年三月に開幕した「ポートピア'81」会場。広さ436ヘクタールは、昭和四五年の万国博の5分の1。

「ここは小売り店と違いますので……」

お客さんは三宮の方へ行かれます。ただし、修学旅行の見学は多いです」

この人工島には従業者と住民を合わせて約四万人が集まっているはずだが、それを感じさせない静けさがある。それは人ゴミと関係しているのではない。宮には「雑踏」があるが、この未来都市にはない。ゲームセンターやパチンコ屋は見当たらない。当初、ここには、万人の計画人口が設定されていた。現在、住んでいるのは、一六三、〇〇〇人。居住者が少ないのはどんな理由か訊いてみた。

「特定の所得者層だけの町にならないよう、住宅は高級分譲から市営住宅まで各タイプそろえました。世帯数は目標とした六六〇〇です。人口の方は核家族化などで若干計画より少ないようです」(神戸市役所)

平成二年度には三九〇〇人が追加の間が経ち、規模が拡大されたら、人間臭さが漂う。港町に戻れるのだろうか

- 昭和五十六年6月
- 1月 ●大相撲 行一一人、メキシコ、本選棄権
 - 2月 ●横浜開港資料館(館長・遠山茂樹、開館)
 - 3月 ●日本フィル再建支援の二万五千人大演奏会 ●東京、首都圏地価は五年間で二倍強と発表
 - 4月 ●政府、カナダに軍用輸送車輸出自主規制を通告 ●横須賀で翌日入港の「ミッドウェー」入港阻止大会、九二〇人参加、早知事も挨拶
 - 5月 ●衆院内閣委で自公が金野勲章復活請願採択
 - 6月 ●ベビーホテルの九四軒に欠陥、と厚生省発表
 - 7月 ●イスラエル軍、イラクの核施設原子炉を空爆
 - 8月 ●通産省、テクノポリス候補一六都市を決定
 - 9月 ●改正商法公布、総会権への利益供与を禁止 ●水・井上ひさし、木下順二ら、政・財・官界の教科書非難に抗議する署名運動を開始
 - 10月 ●食糧法改正公布、米穀通関廃止、贈答自由化
 - 11月 ●国立大の入学辞退者が一割超すと文部省
 - 12月 ●米カリフォルニアが日本の医療機関に一体七〇〇〇で腎臓提供を申し入れと判明
 - 13日 ●柏市で三の少年が小学六年の女子を殺害
 - 14日 ●バリ警視庁、オランダ人女子学生を殺害し肉片を食べたバリ大学の日本人留学生を逮捕
 - 15日 ●上野動物園入場者はパンダのランラン・カンカン死後、年間一〇〇万人ずつ減少と新聞に
 - 16日 ●東京・深川で通り魔殺人、母子四人が犠牲
 - 17日 ●本島長崎市長、核保有国軍艦の長崎入港拒否
 - 18日 ●航空自衛隊、米軍と空中戦合同訓練と発表
 - 19日 ●共産党、静岡県立高で入学寄付金強制と発表
 - 20日 ●三歳の室内事件、ハンマー投げで二〇年ぶりに自己の持つ日本記録を更新
 - 21日 ●北海道釧路市、土産物店店主が飼い熊に襲われ即死、三頭を射殺
 - 22日 ●アラスカのマッキンリー山で遊覧機墜落、新婚旅行の日本人四人死亡
 - 23日 ●朝日新聞社、米軍横田基地を空爆、最も危険な爆発物を示す表示つき倉庫を撮影
 - 24日 ●長崎県、北京で中国選抜チームを指導
 - 25日 ●新秋田空港、開港、東京から一番機到着
 - 26日 ●阪神高速道路の大阪・神戸間が全通
 - 27日 ●イランのイスラム共和国本部を反体制派が爆破、書記長や国会議員ら七九人死
 - 28日 ●中国共産党六中全会、華国鋒主席辞任、胡耀邦主席昇格、文化大革命を全面否定
 - 29日 ●完全失業率が二年ぶりの高率と閣議報告 ●カシオ計算機、日英音声電子翻訳機を発表

ベストセラー

『人間万事塞翁が丙午』で 青島幸男が直木賞獲得！

黒柳徹子の「窓ぎわのトットちゃん」が超ベストセラーになって、タレントが書いた本は売れるという印象を与えたが、青島幸男の『人間万事塞翁が丙午』もやはり売れた。テレビで「いじわる婆さん」を当たり役としていた青島の自伝的小説で、舞台は東京下町。戦争をはさんだ数十年間の人間模様を描いて、昭和五十六年上半期の直木賞を受賞した。

主人公は警視庁の中に売店を持つような、下町では名門の仕出し屋に「嫁」にきたハナ。話は昭和二十二年の秋、ハナの夫である「おとうちゃん」に突然召集令

●昭和56年のベストセラー

- 1位 『窓ぎわのトットちゃん』(黒柳徹子/講談社)
- 2位 『人間万事塞翁が丙午』(青島幸男/新潮社)
- 3位 『なんとなく、クリスタル』(田中康夫/河出書房新社)
- 4位 『神戸ポートアイランド博覧会公式ガイドブック・マップ』(神戸ポートアイランド博覧会協会/神戸新聞出版センター)
- 5位 『アクション・カメラ術(1・2)』(馬場憲治/KKベストセラーズ)
- 6位 『この愛いつまでも』(加山雄三/光文社)
- 7位 『白ゆりの詩』(創価学会婦人部編/聖教新聞社)
- 8位 『ノストラダムスの大予言(1~3)』(五島勉/祥伝社)
- 9位 『新・頭のいい税金の本』(野末陳平/青春出版社)
- 10位 『叱り方の上手な親下手な親』(田中澄江/青春出版社)

全国出版協会出版科学研究所



▲『人間万事塞翁が丙午』(880円)



▲『なんとなく、クリスタル』(880円)



▲『アクション・カメラ術-1』(800円)

状が舞いこむところから始まる。そして、物資・食料不足の戦時下や、戦後混乱期の生活を経て、「おとうちゃん」が脳卒中であつてなくなってしまうまで、話はテンポよく進む。タレント・青島幸男の語術が存分に発揮された小説でもあった。

一方、一橋大学法学部の学生だった田中康夫の『なんとなく、クリスタル』もベストセラーになり話題となったが、こちらは、この頃の東京をそのままグラフィックに展開してみせたような小説だった。ヒロインはモデルをしながら大学にかよう女子大生。時代の最先端を走る彼女の周囲に現れる、ものや場所などあらゆる固有名称がそのまま記され、しかもそのひとつひとつに詳しい注をつけて、時代の様子を浮き彫りにした。

また、これまでになかったハウツー本として、馬場憲治の『アクション・カメラ術』がベストセラーになった。女性の下半身をねらった盗み撮りやスリドなど、多数の作例も刺激的だったが、プロカメラマンによる「教本」でなく、きわめて現実的なハウツーを真剣に語る著者のカメラ術が、若者の共感を呼んだ。

スターと名場面

時代が求めた「癒し」の映画 淡々と心にしみた「泥の河」

経済社会の急ピッチな進展に疲れた心を癒すような映画が、この年話題をさらった。新人・小栗康平監督の「泥の河」がその代表的作品で、モノクロームの画面に昭和三十一年当時の水のある町をしっかりと映し出した。大阪は安治川の河口にある町が舞台で、貧しいながらも心をかよい合わせる子どもたちのナイーブな心情が淡々と描かれ、心にしみるような作品となった。

また、脚本家・倉本聰が高倉健のために書き下ろした「駅 STATION」(降旗康男監督)は、雪の北海道を背景に、男女の機微を映像で表現し、ほろりとさせた。高倉健は妻子と別れた刑事役。しかも、オリンピック代表候補にま



▲「泥の河」で、子どもたちの生き生きとした日々を演じてみせた、左から柴田真生子、朝原靖貴、桜井穂。

▶「駅 STATION」から。雪の町で酒場をいとなむ、孤独な女を絶妙に演じてみせた倍賞千恵子(右)と、彼女と心をかよわせる刑事役の高倉健(左)。



▲「陽炎座」の妖しい世界で、独特の存在感を示した松田優作(左)と大楠道代(右)。

でなった名狙撃手。酒場をいとなむ、やはりひとり身の女と出会い、互いの孤独を癒すのだが……。

こうした人情ものとは別に、耽美的な映画「陽炎座」(鈴木清順監督)もヒットした。荒戸源次郎が、前年の「ツイゴイネルワイゼン」に続いてプロデュースし、移動式ドームで上映した作品。泉鏡花の幻想世界を、鈴木清順ならではの絢爛豪華な映像にしてみせた。



この年、ほかに次のような作品が公開された。かつこ内はおもな出演者「遠雷」(永島敏行)「太鼓」(タービット・ベネント)「エレファン」(ジョント・マン)「ジョント・ハート」

モノ語り'81

イメージを打ち破る商品開発で大ヒット！ 「ポスト・イット」「中華三昧」「せんねん灸太陽」



▲オフィスを大きく変えた糊つきメモ用紙 アメリカのスリーエム社で、数々の困難を克服して開発された、糊つきメモ用紙「ポスト・イット」が、住友スリーエムから発売された。4つのタイプで価格は250円〜350円。当初、アメリカでのヒットにもかかわらず、日本ではそれほど評判にならなかったが、ユーザーからの要望で、付箋紙タイプのものを作ったところ、これが伝説的な大ヒット商品となった。今では付箋と言えば「ポスト・イット」がイメージされるようにさえなっている。



▲衝撃的だった青と白のストライプ歯磨き 口臭を防ぐアクアフレッシュと、歯を白くするホワイトペーストが、ストライプ状に出てくる「アクア・フレッシュ」がサンスターから160グラム入り250円(80グラム入り150円)で発売された(現在は3色ストライプ状でスミスクライン・ピーチャム製薬が発売)。見た目も機能も画期的な歯磨きで、評判を呼んだ。



▼火を使わない画期的なお灸が登場 体のツボを刺激して健康を保つとされてきたお灸だが、熱くて跡が残るという欠点を抱えていた。そこで製造元のせんねん灸は、使い捨てカイロの発熱システムに着目し、火を使わずワンタッチでツボに貼れる「せんねん灸太陽」を開発、千年堂(現・セネファ)から24個入り1700円で発売し、お灸のイメージをガラリと変えるヒット商品とした。



▶ウーロン茶ブームに拍車がかかった 肥満を防ぐ健康的なお茶としてブームになっていたウーロン茶を、缶入り飲料とした「サントリー缶入りウーロン茶」がこの年の年末にサントリーから1本100円で発売され、ロングセラー商品になった。中国福建省産のウーロン茶の葉のみを使用した本場のものであることを強調し、文字表記にも中国風に「烏龍茶」を採用、本場の印象を強めることに成功した。



▲「なめんなよ」で大ブーム 猫に不良っぽい学生を演じさせた写真と、その裏に書かれた「なめんなよ」という表現で、「なめ猫」なる愛称を得たカードが、トライエックスから1枚100円で発売され、爆発的に売れた。女子高生から小学生まで、幅広い人気を呼び、ついに海外にまで進出し、特異な社会現象として注目された。

▼高価な即席麺がヒットした 即席麺の老舗・明星食品が、高級即席麺「中華三昧」を発売して、即席麺は安いという概念をくつがえした。醤油味の広東風、塩味の北京風、味噌味の四川風の3種類があり、どれもノンフライの平打ち細麺でコシがあることを特長としていた。ほかの即席麺が1個70円の時代に1個120円で市場に打って出て、たちまち年間100億円超の大ヒット商品になった。



▲下着のカラー化を定着させたパンツ ワコールがカラフルな下着「シェイプパンツ」(16色、各2000円)を発売し、話題を呼んだ。翌年には後ろ姿の女性がカラー違いの下着だけになる衝撃的なコマーシャル(写真参照)を背景に、ヒット商品となった。このヒットで下着のカラー化は定着したと言える。





人物クローズアップ

倉本 聰(四六)

富良野の自然と、純と蛍の成長 ドラマ「北の国から」放映開始!

昭和五十六年一〇月九日、フジテレビで倉本聰(四六)脚本のドラマ「北の国から」の放映が始まった。ドラマは毎週金曜日の午後一〇時から一時間、翌五十七年三月二十六日まで、合計二十四回にわたって放映された。初回の視聴率は、一六・四割、平均視聴率は一四・八割を記録した。

撮影は前年の九月に始められ、終了したのは放映が始まった五十六年の一〇月だった。ともすれば短期間で作られることの多いテレビドラマにあつて、一三カ月の長期ロケは、それまでの常識をくつがえす異例のものだった。春、夏、秋、冬、移り変わる大自然の風景の中で、嬉々として動きまわるスタッフと俳優陣。東京と富良野を往復する俳優たちを、地元の人々が温かく支える。そして作者の倉本聰は、シナリオをテレビドラマを通して文学作品に作り上げ、シナリオ文学という領域を切り開くのである。

物語は、離婚した中年男が二人の子どもを連れ、東京から故郷の北海道・富良野に戻ってくるころから始まる。男の名は黒板五郎、二人の子どもは純と蛍。北海道の広大な大自然を背景に、新たな

人生に挑もうとする親子。それを暖かく、包みこむような優しさで励まし、助け合おうとする人たち……。

倉本聰は、昭和九年二月三日(戸籍は一〇年一月一日)、東京市渋谷区代々木生まれ。三〇年、東大文学部美学科入学。三四年、ニッポン放送に入社。おもにラジオドラマを手がけたが、そのかわり、会社内に内緒で映画のシナリオなどを書いていた。三七年、ニッポン放送を退社、シナリオライターとして独立した。最初は映画のシナリオを書いたが、その後テレビに移り、四二年に「文吾捕物絵図」(NHK、四五年に「君は海を見たか」(NTV)、四六年「おりよう」(CBC)、「挽歌」(NHK、四七年「赤ひげ」(NHK)とたてつづけに名作・ヒット作を発表。シナリオ作家としての地位を確立した。四九年、NHK大河ドラマ「勝海舟」の放送途中に演出上の問題で局側と衝突。北海道に「逃走」して、それが北海道へ居を移すきっかけとなった。五二年八月、北海道富良野に永住を決定。そして、この北海道での生活体験が、名作「北の国から」を生むことになった



▲「北の国から」の主人公たち。左から純(吉岡秀隆)、蛍(中島朋子)の兄妹と、その父親・五郎(田中邦衛)。

のである。

放送評論家の志賀信夫氏は、テレビドラマ「北の国から」が与えたインパクトを、次のように述べる。

「高度成長に疲れ、組織に疲れた人々が、大自然の中で自分一人の手で生きていくとする主人公たちに、人間の基本的な生き方を見つけ、そこにひとつの癒しを求めたのではないだろうか」

倉本自身は、このシナリオを書くことになった背景をこう語った。

「北海道に移住して、東京からの一方的な情報に不公平を感じましてね。北海道には、こんな生き方をしている人間がいる、という情報を発信したかった。それは、知識よりも知恵で生きるという生き方です」

以降、「北の国から」は続編がスペシャル番組として放送され、画面の中で成長していく純と蛍を、視聴者はまるで自分の子どもを見守るようにして見続けている。

決定的瞬間

サダト暗殺の四五秒間！ イスラム過激派の凶弾に 観閲席は血の海と化した

それは、わずか四五秒間の出来事だった。一九八一年、〇月六日午後一時（日本時間午後八時）すぎ、二年前の、九七年にはイスラエルとの平和条約に調印し、中東和平を積極的に押し進めてきたエジプトのアнвар・エル・サダト大統領が凶弾に倒れたのである。

その日は、エジプトが一九七三年の第四次中東戦争の緒戦で初めて仇敵イスラエルを破った戦勝記念日で、恒例の軍事パレードが、カイロ郊外のナスル・スタジアムで午前一時から行われていた。サダト大統領は、観閲席の中央最前列に座り、エジプト国軍の精鋭、数千人の将兵が参加したこのパレードを眺めながら、誇らしげな笑みを満面にたたえていた。その左右にはムバラク副大統領（現

大統領）、ガザラ国防相が陣取り、まわりの席は、エジプト政府、軍の高官、各国外交官らで埋めつくされていた。

午後一時、観閲席中央前を行進中の砲兵車両部隊のうち観閲席に一番近い一両が突然停車、助手席から一人の将校が飛び降りた。しかし、誰もがその将校は大統領に敬礼するために車から降りたものと思いこんでいた。

人々の興味は会場の上空にあった。ちょうどその時、鋭い金属音を轟かせながら姿を現したフランス製ミラージュ戦闘機六機が、みごとなアクロバット飛行を披露し、赤、白、緑の煙でエジプト国旗を大空に描いていた。

事態は、変化した。ジェット機の爆音にまじり、「バン、バン」とはじけるような

銃声がし、車両から降りた将校が、観閲席の大統領めがけて手投げ弾を投げつけると、その車両の荷台から三人の兵士が次々に飛び降り、自動小銃を乱射しながらサダト大統領に襲いかかった。

あまりにも突然のことに、警備陣はなすすべもなかった。首、胸、腰などに銃弾を撃ちこまれたサダト大統領は、無残にも観閲席に崩れ落ちたのである。

その後サダト大統領は、観閲台裏で待機中のヘリコプターでカイロ南部のマードイ陸軍病院に運ばれたが、同日午後七時五〇分（日本時間七日午前二時五〇分）、エジプト政府から正式に大統領の死亡が発表された。六二歳であった。

惨劇の現場は血塗られていた。大統領を守るため身を挺したアブジル・ハーフエズ大統領個人秘書は即死。この事件による死者は一人、負傷者は三八人にもおよんだのである。

襲撃実行犯四人はその場で逮捕された。エジプト国防省は「主犯はハレド・マハマド・エスランプリ砲兵中尉で、狂信的イスラム教徒の少数グループによる単発的犯行」と発表した。

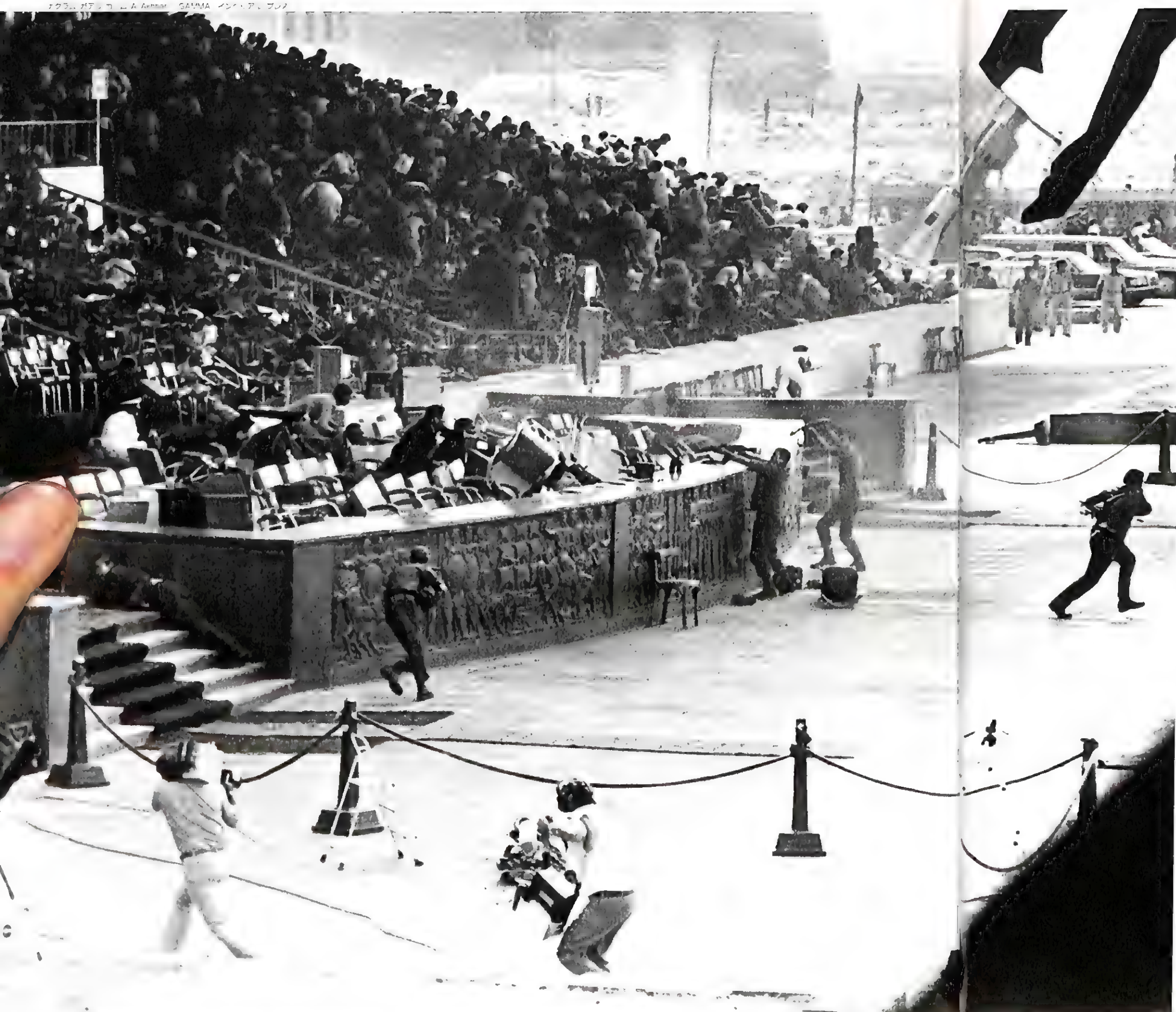
しかし、事件の背後関係についてはさまざまな憶測が流れた。事件直後、「エジプト解放のための独立組織」と名乗るグ



▲凶弾に倒れる直前のサダト大統領（左）と国防相（右）。右側はガザラ国防相

ループがレバノンのベイルートで犯行声明を出し、その後、事件の里幕として「タクフィール・ワル・ヒジラ」という過激なイスラム原理主義グループの名も浮かび上がった。

サダト暗殺の背景には、アメリカの後押しでイスラエルとの和解を追求するエジプトへの、アラブ諸国の危機意識があった。そして、一九七九年、月のイラン革命を震源とするイスラム復興をめざす巨大な潮流と、サダトの路線はあいれないものであった。サダトを引き継いだムバラク政権とイスラム原理主義過激派との対立はさらにエスカレートし、一九九七年、一月、ルクソールでの観光客襲撃事件にまで尾を引くことになる。



▲サダト大統領の暗殺の瞬間。観閲席の最前列に座っていたサダト大統領が急いで避難しようとする間も、暗殺者たちは背伸びしながら銃を高くかまえ、ボックス内に集中射撃をあげせた

失われゆく自然への賛嘆！ 三〇代若手写真家の力作で 『ネイチャーフォト』全盛に



▲姉崎一馬はるにれより、この写真集で有名になったハルニンの樹は、豊頃町の文化財に指定された。

昭和五十六年は、動物や植物などの自然をテーマにした写真集が五〇点以上も出版された年である。それまで『科学写真』『生態写真』などと呼ばれていた写真のジャンルが、『ネイチャーフォト』と呼ばれ、一般に親しまれるようになったのも、この頃からである。

この年に出版されたおもな写真集としては、岩谷光昭（三二）『海からの手紙』、姉崎一馬（三三）『はるにれ』、海野和男（三四）『飛べオオムラサキ』、江川正幸（三六）『下北半島のサル』、熊田達夫（三三）『草木抄 四季』、桜井淳史（三五）『サケ 母なる川に帰る』、宮崎学（三三）『鷺と鷹』などがあげられ、三〇代から三〇代前半の若手写真家の台頭が著しかった。

アメリカの生物学者レイチェル・カーソンの『我らをめぐる海』に感銘を受けた岩谷は、海と陸のかかわりを動物写真で表現したいと『アサヒグラフ』に企画を持ちこみ、ガラバゴス島、カリブ海、北極、南極などを取材。同誌に昭和五三年から三年間にわたり連載され、この年、『海からの手紙』（朝日新聞社）としてまとめられたのである。岩谷は昭和五五年、

動物写真家としては初めて木村伊兵衛賞を受賞した。北海道十勝郡の豊頃町にある一本のハルニレを、一年間にわたり定点から撮影した姉崎一馬は、『はるにれ』（福音館書店）を児童向けの本として出版した。たった一本の樹の一年を撮影した写真一八枚からなるシンプルな構成の本ではあったが、ハルニレをとりまく季節の移り変わりが、壮大なドラマとなって見るものを感動させ、おとなたちの間にも多くの共感者を得た。本書はまた、多くのアマチュア・カメラマンを十勝に呼びよせることにもなった。

サケの人工孵化がさかんになったこの頃、自然とともに生まれ自然の中で死んでいくサケの姿を撮りたいと願った桜井は、北海道の知床の川で、一月の水温摂氏三度の水中で撮影を続けた。こうして世に出た『サケ 母なる川に帰る』は、国内だけでなく海外でも注目された。

また、日本で繁殖しているワシ・タカ類の全六種を撮りたいと思っていた動物写真家の宮崎は、北海道から沖縄まで、五年の歳月をかけて撮影した。翌五七年、宮崎は日本写真協会新人賞を受賞する。

自然科学写真協会の理事長・竹村嘉夫氏は、一九八〇年代を『ネイチャーフォトの時代』だと言う。その芽生えは、一九五〇年代にあり、六〇年代が草創期、七〇年代が確立期だとする『カラスの四季』（昭和三一年）の周はじめ、『カメラ動物記』（昭和三四年）の岩谷徳光、『高



▲桜井淳史『サケ 母なる川に帰る』より、サケの産卵シーン。サケがのぼってくる川にはヒグマも現れる。水温3度の川の中で待つのは、1時間か限界。

山麿（昭和三四年）の田淵行男、『日本野生動物記』（昭和四三年）の田中光常ら先輩たちの奮闘とさまざまな撮影技術の開発の積み重ねが、八〇年代の若手写真家たちに引き継がれていた。昭和四八年に平凡社から月刊の動物グラフィック『アニマ』が創刊され、宮崎をはじめ多くの新人カメラマンの発表の場ができたことも、彼らを大いに発奮させた。

ネイチャーフォトが普及していった時期は、皮肉にも経済成長や人口増加にもなう自然環境の悪化が、地球規模で広がっていった時代でもある。日本に限っても、都市近郊の自然破壊は著しく、身辺から野草や昆虫、小動物が激減していった。佐渡のトキをはじめ、絶滅の危機にさらされた生物が、マスコミに取り上げられるようになった。生活の周辺から自然が失われていくにつれ、人々の自然志向が強まっていった。そうした人々の欲求にこたえるように、ネイチャーフォトは野生の動植物のありのままの姿、生存を賭けた生のドラマ、自然の美の世界をリアルに訴え、自然に対する驚異と

賛嘆の声を呼び起こしたのである。『ネイチャーフォト』がいちばん元氣だった一九八〇年代を回想して、ネイチャ

ー・プロダクションの代表・三谷英生氏は次のように感想をもらした。『写真集は三〇〇部くらいが普通だが、

当時は万とか、万五〇〇部という単位で発行されたものです。高価だったカメラやフィルムが人手しやすくなり、こ

の頃、アマチュア・カメラマンがふえて底辺が広がったことも、大きな要因でしょう。



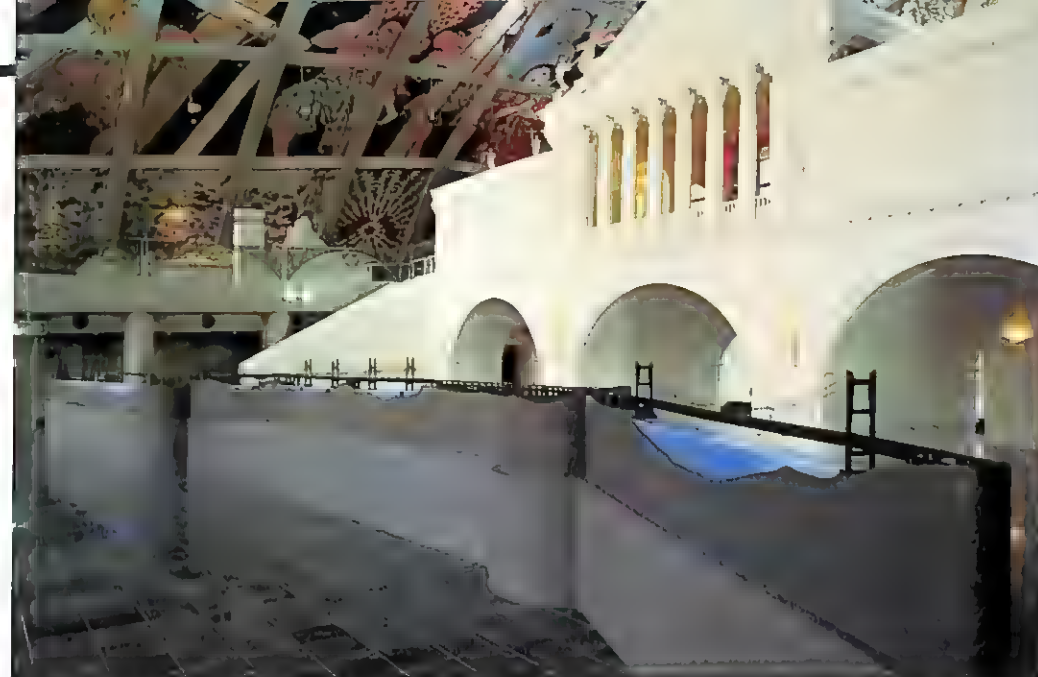
▲三谷英生『海からの手紙』より、クマノミ（カマノミ）の交尾活動。ほか、ペンギン、クジラなど、世界各地の海洋に生きる動物の写真85点を掲載。

倉敷市瀬戸大橋架橋記念館

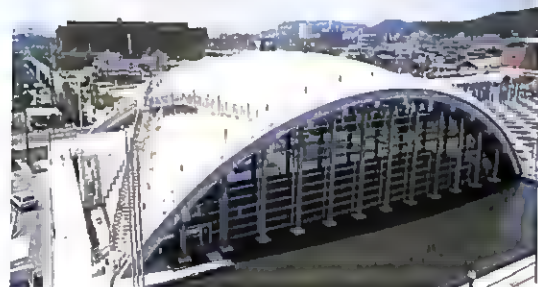
岡山・倉敷市

太鼓橋をイメージした建物に詰めこまれた橋と人間の諸相

「倉敷市瀬戸大橋架橋記念館」、通称「橋の博物館」に着くなり、ど肝を抜かれた。ドーム状の建物の上を親子連れや若いカップルが歩いているのだ。まるでだまし



▲手前に見えるのは、瀬戸大橋の500分の1精密模型。彼らは16世紀初頭に設計されたが実現せず、幻に終わったベネチアのリアルト橋の模型。
▼博物館全体が太鼓橋となっていて、人が屋根を「渡る」ことができるようになっている。



絵に見るような光景だったが、よく見ると建物のカーブにそって階段が刻まれているのだった。さっそく階段を上がってみると、てっぺんの方も階段状になっていて、楽に立っていられる。奇妙な建物だが、これは大阪の住吉大社の太鼓橋をイメージして作られたのだ。瀬戸大橋架橋記念館がなぜ太鼓橋でなければならないのか。可見文芸館長の話では、魂鎮めのためなのであった。架橋を記念するのなら、たとえば、巨大な杭を何本も打ちこまれた瀬戸内海に浮かぶ島など、自然の怒りをまず鎮めるべきであるという考えに基づき、この建物自体を神社の一部に仕立てたのである。

太鼓橋の裏側、つまり館の内側から言



▲古代ローマ帝国が作ったスペインの「セゴビアの橋」の模型。上部が水路となっている水道橋で、御影石を高く積み上げた魔術的な橋とされている。

うと球形のカーブを描いた天井には、日本中世の渡り職人や旅芸人、遊行僧などがカラーで描かれている。橋の下を生活の拠点にしながら、技術や芸術の腕を磨いた人たちである。

このように、瀬戸大橋という、ハイテク時代を象徴する巨大建造物に、人間の営みとともにある「橋」のイメージを付与しようとした博物館なのだ。

この天井画の下には瀬戸大橋の精密な模型があるが、その脇に大きな白い橋が再現されている。一六世紀のベネチアで架けられるはずだった「リアルト橋」(現存のものは別)だ。当時の人気建築家、パラディオが設計したもので、橋の上に複数の通路と数軒の店舗をおくというにぎやかなものだったが、技術と費用の面から実現されなかった。そのリアルト橋をここで再現しようとしたのも、橋が人間の営みとともにあることをあらためて認識しようとしたためだ。

そしてこの橋の上に行くと、橋の歴史などが、パネルやジオラマで展示されており、代表的な橋の模型も同じフロアにおいてある。古代ローマの巨大な水道橋であるスペインの「セゴビアの橋」や、三世紀の初頭に架けられた「ロンドン橋」、世界で最初の鉄の橋、イギリスの「コールブルックデール橋」などである。

ほかに、葛飾北斎が描いた「夢の白橋」を、なんとそのまま大きな箱庭に配置したコーナーもあって、想像力を大いに刺激してくれる。

また特筆すべきは、建物の外にある「橋の公園」だ。記念館と一体的に管理・運営されているのだが、無料で遊べる公園で、ここに日本各地に点在していたとされる、種類の橋が架けられているひとつひとつは短い橋だが、「吊り橋」はもちろん、小舟の上に板を渡して作る「船橋」や屋根のある「家橋」など、すべて実際に渡ってその感触を味わうことができる。さつと通過するだけが「橋」ではないことを、いろいろな角度から感じさせてくれる、まさしく「橋の博物館」なのであった。

●倉敷市瀬戸大橋架橋記念館
倉敷市児島味野二丁目二八
番〇八六―四七四―五二一
JR児島駅から徒歩一〇分
開館時間九時―一七時
休館日月曜日(祝日の場合は翌日)、
年末年始
入館料一般二〇円



▲古代インドのカシミールの橋の模型。舟を沈めて、その上に橋脚を作り、さらに橋脚を突き出してつないでいる。

ラジオ、ロコミが火をつけた 732万5000部の超ベストセラー! 『窓ぎわのトットちゃん』はどう読まれたか

黒柳徹子



▲小学校1年生の頃の黒柳徹子。この公立小学校を1年で退学になってしまう。

◀転校した私立トモ工学園の思い出を綴った、自伝的エッセイ『窓ぎわのトットちゃん』。挿絵は、いわさきちひろの作品から選んだもの。定価1000円。

タレント・黒柳徹子の書いた『窓ぎわのトットちゃん』が、爆発的なベストセラーとなった。彼女が学んだ、戦時下に奇跡的に存在していた、自由主義教育の学園の思い出を綴った同書は、いわさきちひろのメルヘンタッチの挿絵ともあいまって、まさに引っ張りだこになったのである。売り上げはこれまでに七三万部を超え、今も売れ続けている。

毎週二〇万部の増刷
一年で四五〇万部!

「あんな忙しさは前にも後にもあの時だけ。ほとんど毎週、一〇万部の増刷が入ってきた。伝票なしで、工場に増刷の指示を出すという、常識はずれの特例で対処したほどです」

当時、共同印刷で、矢継ぎ早の増刷の



窓ぎわのトットちゃん



◀タレントとしてテレビで活躍する一方、黒柳は1984年からユニセフ親善大使としてアフリカ各国を歴訪、飢饉救済を世界に呼びかけている。写真は、1987年モザンビークにて。

注文をさばいた大谷恒夫さんの思い出だ。文庫版や英文版まで含めると、現在までに、七三三万五〇〇〇部という空前絶後のベストセラーとなった『窓ぎわのトットちゃん』（講談社刊）のことである。『トットちゃん』の発売は、昭和五十六年三月一日。著者はタレントの黒柳徹子（四七）だった。

毎週一〇万部の増刷という異常なペース、ピークの第四三刷は、一度になんと三〇万部というとてもない数字を記録している。だが、編集担当の岩本敬子さんは、「初版は一万五〇〇〇部にしかうかと悩んだすえの二万部。一〇万部まで届いてくれれば」と踏んでいた程度だった。しかも当初は「週に一度、二万部が三万部の増刷を繰り返す程度」にすぎなかった。そこそこの売れ行きとはいえず、出版史上空前の大ベストセラーになるなど、到底信じられない立ち上がりだったのである。

だが、突然火のついたような注文ラッシュが起きた。そのきっかけは発売から約一カ月ほどたった昭和五十六年四月末に、TBSラジオ「久米宏の土曜ワイドラジオ東京」に、黒柳が出演し、一時間にわたって「トットちゃん」を朗読したことだった。番組終了の、時間ほど後から、講談社の電話が鳴り続けた。そ

れはまさに爆発的だった。

それを契機に関係者は、大バニックに見舞われる。挿絵の微妙な色を生かすための特殊な上質紙、サンフラワーが不足し、きりきり舞いさせられた。宣伝用に用意した「五〇万部突破」のポスターの完成時には、すでに八〇万部を突破していた。製本が追いつかず、時には、一カ所の製本会社に分けて作業した。これらは、どれも前代未聞のことだった。

「寅さん」と共通する「トットちゃん」人気

『窓ぎわのトットちゃん』は、黒柳が「落ちこぼれ」だった幼少時代の思い出を綴った作品である。最初の小学校では、厄介者扱いのうえ、退学させられた経緯、そして転校した私立「トモエ学園」の、のびのびとした生態を描いていた。戦時中の息詰まる生活の中で、個性を尊重する自由主義的な教育が、東京で行われていたことも、新鮮な驚きを与えた。黒柳は払い下げの電車の校舎で、小林宗作校長と出会う。「君は本当はいい子なんだよ」と言う校長に、黒柳は安心し、自信を持ち、校長に全幅の信頼を寄せた。いわさきちひろのメルヘンタッチの挿絵も人気に輪をかけていた。ちなみに装丁はイラストレーターの和田誠。黒柳自身



昭和一五年頃のトモエ学園。電車の教室に、校庭の緑意が、へ

は、「ノンフィクション、メルヘン、間接的な教育論」と自著を評した。

この大ベストセラーが生まれた要因の第一は、もちろん本自体の力だった。

最初に口火を切ったのは、〇代、一〇代の若い母親から。彼女らの口コミによ

るものだった。母親たちはブラウン管の人気者・黒柳がかつて「落ちこぼれ」だったことを知り、驚き、親近感を深め、そして偏差値教育の中で失われた、温かい人間関係を持ったトモエ学園にあこがれていく。次に広がった読者層は子どもたちだった。この年の夏休みには、全国で無数の「トットちゃん」に対する読書感想文が提出された。そこには「校長先生と話ができた学校がうらやましい」「あんな学校があったらいいな」という感想が記されていた。だが、若い母親たちは、同時にわが子を受験競争に駆り立てている「張本人」でもあった。だから当時、

『トットちゃん』ブームは、偏差値万能教育に加担していた彼女らの「罪滅し」からだ、とも指摘された。

ブームの第一の立て役者はマスメディアの力だった。出版ジャーナリストの塩沢実信氏は「ベストセラーは、売れ行きが鋭角的に伸び、一転、急降下するのが普通。『トットちゃん』も発売一週にピークを迎え、退潮のきざしが見えた。その時点で大新聞などに複合的な宣伝を打って売れ行きを高原状態で維持した。この方式は、その後も踏襲されますが、その草分けが『トットちゃん』でした」と言うのである。この年のベストセラー上位一〇冊のうち、四冊はテレビに関係する著者の作品で占められていた。

さらに『トットちゃん』ブームと「寅さん」人気は共通の要素があるという声も上がった。下町と山の手の違いはあるが、両者に共通する世界は、高度成長の過程で切り捨てられた、古き時代の温かな人間関係だった、というのである。ひからびた人間関係に本能的におびえ、憧れの「絵物語」にひたっていたという解説だった。

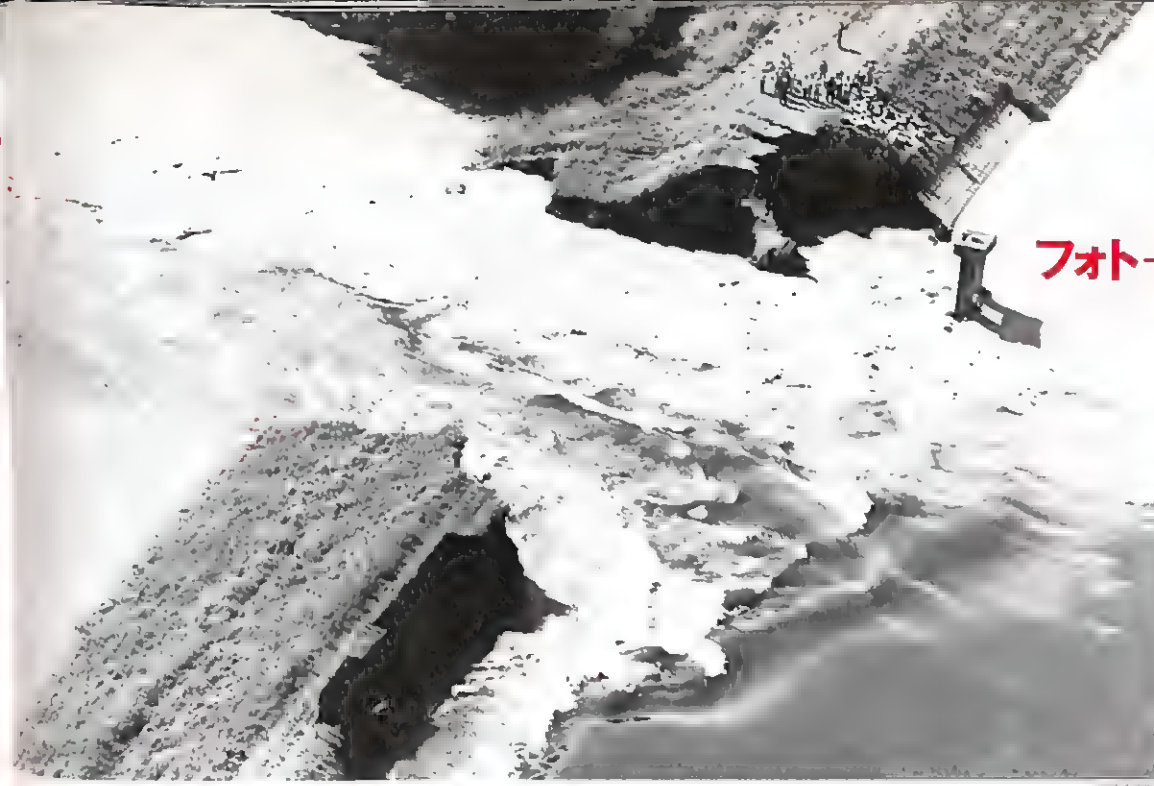
この時代のひとつのキーワード「個性の時代」を手がかりに『トットちゃん』ブームを分析する意見もあった。きわめて「個性的」な『トットちゃん』をマスメディアの勧めるままに、皆と同じように読み、同じ感動を味わおうとした、というのである。「個性の時代」という名の「非個性的感性」が『トットちゃん』症候群の陰の主役だったというわけだ。さまざまな解説や謎解きをよそに、『窓ぎわのトットちゃん』は、今も年に数万冊のペースで売れ続けている。



▲元運輸政務次官・佐藤孝行に懲役求刑(7月14日)
検察はロッキード事件での受託収賄は明らかとし、二審で執行猶予つき2年の有罪確定。平成9年橋本内閣の地務庁長官に就任、非難をあげて辞職した。



▼異色の芥川賞・直木賞(7月16日)吉行淳之介の妹・理恵(右)は、芥川賞史上初めての兄妹受賞。直木賞の青島幸男(左)は、現職の国会議員として初受賞だった。



▲利根川支流、堤防決壊(8月24日)台風15号がもたらした大雨で、茨城県竜ヶ崎市の小貝川が急激に増水、左岸が約20メートルにわたって決壊した。市内など約2500戸が浸水、関東地方屈指の穀倉地帯が大打撃を受けた。

▼千代の富士、横綱へ(7月21日)19日の大相撲名古屋場所千秋楽で北の湖を破り優勝。大関3場所ですり勝ちをたたき、26歳。115キロの軽量を速攻でカバーし「ウルフ」と呼ばれた新横綱は、伝説を受け部屋の後輩と推挙を喜んだ。

▶行革へ第1次答申(7月10日)臨時行政調査会(第2次臨時)が増税にたよらない財政再建をめざしてまとめた。写真は土光敏夫会長(右)から答申を受ける鈴木首相と中曽根行管庁長官。福祉・教育や地方財政に厳しい見直しを迫るものだった。



▲23年ぶり部分日食(7月31日)月によって欠ける部分は沖縄が2割、東京が6割、稚内が9割。台風10号の影響で観測できない地方も多かった。写真は東京のビルと日食を1枚に合成。



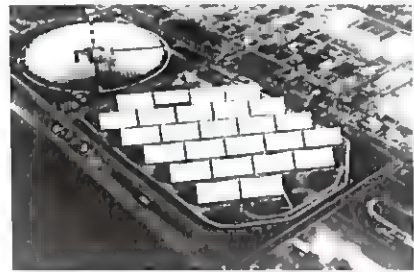
▲広島で「ダイ・イン」(8月6日)36回目の原爆記念日を迎えた広島市で、核開発への無言の怒りと抗議をこめて、道路に倒れ伏す若者たちの新しい形のデモンストレーション「ダイ・イン」が登場した。

▲第1回浅草カーニバル(8月29日)東京・浅草の商店街などが、若者客を呼び戻そうと企画した。本場ブラジルのリオのカーニバル優勝チームや、都内のサンバ同好サークルなどから約2500人を招いて、大サンバ大会を開催。13万人の人出で、大にぎわいとなった。

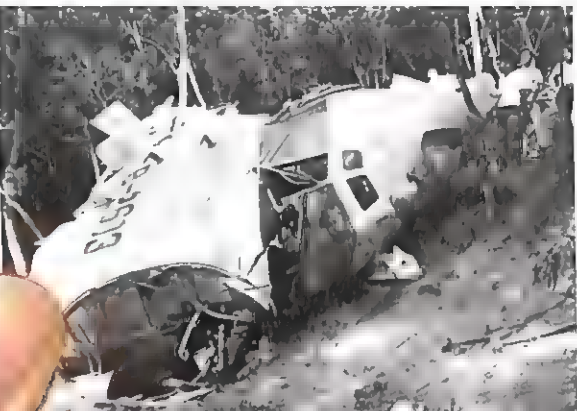
▼石原裕次郎、笑顔でVサイン(8月30日)胸部大動脈瘤手術のため、4月から東京・信濃町の慶大病院に入院中だったが、退院前々日に記者会見。「奇跡の生還」と言われた。昭和62年7月17日、肝臓癌のため52歳で死去。



▲「ベンチがアホやから」(8月26日)阪神の江本孟紀投手(34)が甲子園球場の対ヤクルト戦で降板させられ、痛烈な首脳陣批判。責任をとって退団した。写真は10月の引退会見。左は岡崎球団社長。



▶太陽熱発電に初成功(8月6日)香川県仁尾町に電源開発公社が建設し、この年3月の「仁尾太陽閣」開業とともに公開。この日、太陽熱発電では世界で初めて最大出力1000キロワットを達成した。プラントは博覧会閉幕後も稼働したが、昭和59年に解体された。



▲向田邦子、台湾の飛行機事故で死亡(8月22日)台北の南西でボーイング737型旅客機が墜落、日本人18人を含む110人が犠牲に。売れっ子脚本家直木賞作家の向田さんは、取材旅行中だった。

昭和56年7月

- 1 (水) 放送大学開校。1981年度開校式。
- 2 (木) 近畿地方で豪雨。大阪府の堺市で、100人以上の死者が出た。また、大阪府の堺市で、100人以上の死者が出た。
- 3 (金) 参院選。投票率は史上最低の約54%。東京都選出。投票率は史上最低の約54%。
- 4 (土) 全米で「スーパースター・マククロー」初優勝。
- 5 (日) 「クック・タイムズ」同性愛者4人が、ロンドンで暴行された。同性愛者4人が、ロンドンで暴行された。
- 6 (月) 長崎県で元寇時に沈没の蒙古船の調査開始。
- 7 (火) 五円引きで一枚三円の広告つきはつき発売。
- 8 (水) 古紙暴落で、ちり紙交換業者が価格引き上げ求めトラック七台で通産省にデモ。
- 9 (木) 神戸商船大、女子への門戸開放を決定。
- 10 (金) 参院選。第一次答申を首相に提出。公社の民営化。老人医療無料化の廃止など。
- 11 (土) 群馬県で豪雨。水質浄化対策を協議。
- 12 (日) 神戸市で豪雨。水質浄化対策を協議。
- 13 (月) 米軍横田基地の夜間飛行差し止め請求却下。
- 14 (火) 米議院、日米関係強化の公聴会開始。
- 15 (水) 瀬戸内沿岸、三河湾、環境保全計画を発表。
- 16 (木) 芥川賞に吉行理恵、直木賞に青島幸男決定。
- 17 (金) イスラエル軍、ベイルートのパレスチナゲリラ基地、難民キャンプ爆撃。
- 18 (土) 鹿児島県でひびくから食中毒、九人発病。
- 19 (日) 映画で三國志が三〇年ぶりブームと新聞に。
- 20 (月) オタワ・サミット、開催。
- 21 (火) 千代の富士、大関在位三場所で横綱昇進。
- 22 (水) 首都圏で豪雨。七戸停電、三七六戸浸水。
- 23 (木) 山口組組長・田嶋・雄・死去。警察、厳戒態勢。
- 24 (金) 体協、外国籍高校生の団体参加承認と通達。
- 25 (土) 参院選、都内一七カ所に、夕涼み道路開設。
- 26 (日) 福岡市地下鉄一号线開業。九州で初めて。
- 27 (月) 行管庁、電報・KDDの通信回線開放を勧告。
- 28 (火) 徳島県山田町で男が家族一人殺害、五人に重傷を負わせた後、警官を襲撃し射殺される。
- 29 (水) 英チャールズ皇太子、ダイアナと結婚。
- 30 (木) 旅館・ホテルに安全マーク交付と東京消防庁。
- 31 (金) 南海の門田博光、月間一六本塁打の新記録。伊ペネチア近郊で日本人団体旅行客を乗せたバスが追突事故。四人死亡、二人負傷。

昭和56年8月

- 1 (土) 住友石炭、赤平炭鉱でガス突出事故。三人死亡。
- 2 (日) 新宿コマでミュージカル「ピーターパン」開演。
- 3 (月) 教員組合が自民党に政治献金と判明。
- 4 (火) 政治資金初めの一〇〇億円の突進と自治省。
- 5 (水) 電通、磁気カード式公衆電話とテレホンカードを発売。
- 6 (木) 原爆記念日の広島で抗議の初「ダイ・イン」。
- 7 (金) 大店会館に反対し小売業者が全国連絡組織「スーパー駆け込み隊」を設立。
- 8 (土) 主要企業の夏の賞与は平均四八万円と労働省。
- 9 (日) 「水の週刊」を記念する第一回ウォーターフェア・レガッタ。隅田川で開催。
- 10 (月) 米国防長官、中性子爆弾の生産再開を表明。
- 11 (火) 気象衛星「ひまわり2号」打ち上げ。
- 12 (水) 米軍制空機など北回りで欧州線がストップ。成田空港で開港以来初めて麻痺状態に。
- 13 (木) 米GM社、いすゞ自動車、鈴木自動車、小型車生産で協力するため資本提携に調印。
- 14 (金) 中央選挙区、丸山ワクチンの承認は不適当と答申する。
- 15 (土) 教科書問題を考える市民の会、結成。
- 16 (日) 参院選。次年度国立大学新設認めずと決定。
- 17 (月) 神奈川県、情報公開制度の報告書を説明。
- 18 (火) 東京で国際障害者年の初の試みとして、千代のボランティア交流集会。開催。
- 19 (水) 米軍機、地中海上空でミサイル軍艦を撃つ。
- 20 (木) 完全給食実施の八九、かき食す施設と文部省。
- 21 (金) 東京高裁、水山刑に、密死刑を破産し無期懲役の判決。58年最高裁が着しししし。
- 22 (土) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 23 (日) 熊本県で豪雨。水質浄化対策を協議。
- 24 (月) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 25 (火) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 26 (水) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 27 (木) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 28 (金) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 29 (土) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 30 (日) 参院選。投票率は史上最低の約54%。
- 31 (月) 参院選。投票率は史上最低の約54%。

◆オンライン詐欺犯送還(9月10日)端末機を操作し架空口座に1億3000万円を送金・入手した、三和銀行茨木支店預金係の女性(左の後ろ姿)が潜伏先のマニラから強制送還。サラ金返済に困った愛人のため。

▼名古屋五輪の夢、ついでる(9月30日)1988年の夏季五輪開催地を決めるI O C総会が西独で行われ、韓国・ソウルに決定。勝利を信じていた市は呆然。「市民不在」と言われた誘致運動は、6億円の借金を残した。



▲六価クロム訴訟、原告勝訴(9月28日)日本化学工業社員が肺がんなどを患ったのは会社の責任とした訴訟で、東京地裁は被告の過失責任を指摘、10億円の賠償を命じた。



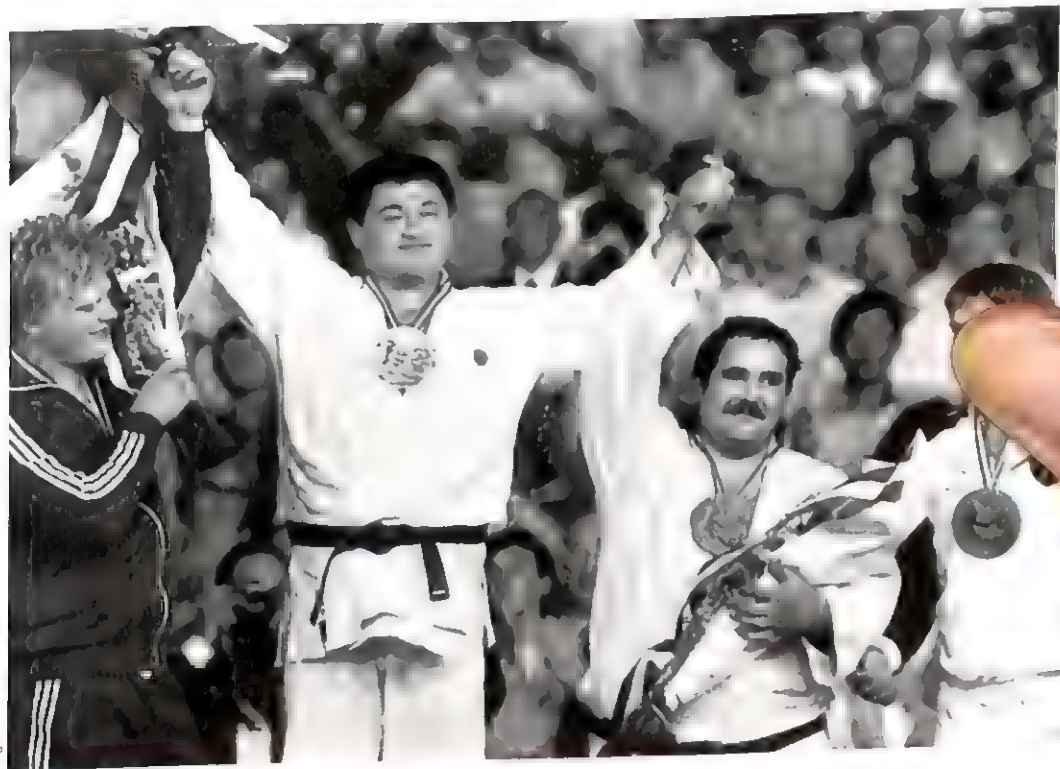
◆鈴木首相、北方領土視察(9月10日)自衛隊のヘリコプターで約1時間、函館・色丹・国後・択捉の4島を、現職首相として初視察。写真は、函館群島目の納沙布岬に立つ首相(中央)。



◆山下泰裕五段、二冠王(9月6日)オランダで行われた世界実業選手権で、95キロ超級優勝に続き、無差別級でも決勝でポーランドのレシュコ(左)を破り優勝。二冠は大会初。



◆勝プロ倒産(9月24日)負債総額12億円。俳優の勝新太郎が昭和42年に設立した映画・テレビ製作会社で、「座頭市シリーズ」は成功したが、前年の「警視一K」の不評が響いた。

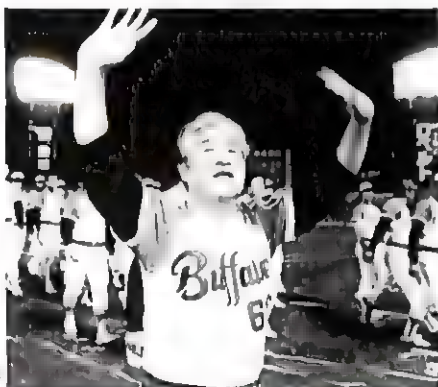


▲「しんかい2000」潜水日本新(10月13日)海洋科学技術センターの調査船で、3人が乗船、三重県尾鷲沖で深度2008メートルを達成した。写真は、母船「なつしま」による引揚げ。

◆榎本三恵子、「ハチのひと刺し」証言(10月28日)ロッキード事件公判で、元首相秘書・榎本敏夫被告の前夫人が、献金受領を認める証言。「ハチは一度刺したら死ぬ」と名セリフ。



▲PLOアラファト議長来日(10月12日)西側主要国への初の訪問。中東情勢におけるイスラエルの非を訴えた。鈴木首相は、PLOをパレスチナ人の代表機関として認める立場を、あらためて表明した。



◆スウェーデン領海内でソ連潜水艦座礁(10月28日)現場は海軍秘密基地に近く、前年来、国籍不明艦のスパイ疑惑活動が頻発。疑惑を残したまま、ソ連側に引き渡された。

▼北炭タ張新鉱で大事故(10月16日)海面下約700メートルでガスが突出し、火災を誘発。死者は戦後北海道炭鉱災害史上最悪の93人。59人の遺体を残して、鎮火のため注水。



◆近鉄の西本幸雄監督引退(10月2日)健康を理由に決意。61歳。日本シリーズに8度出場、一度も日本一になれず「悲運の名将」と言われた。写真は4日の日生球場での最終戦、古巣・阪急との試合後、ファンに別れの挨拶をする西本。

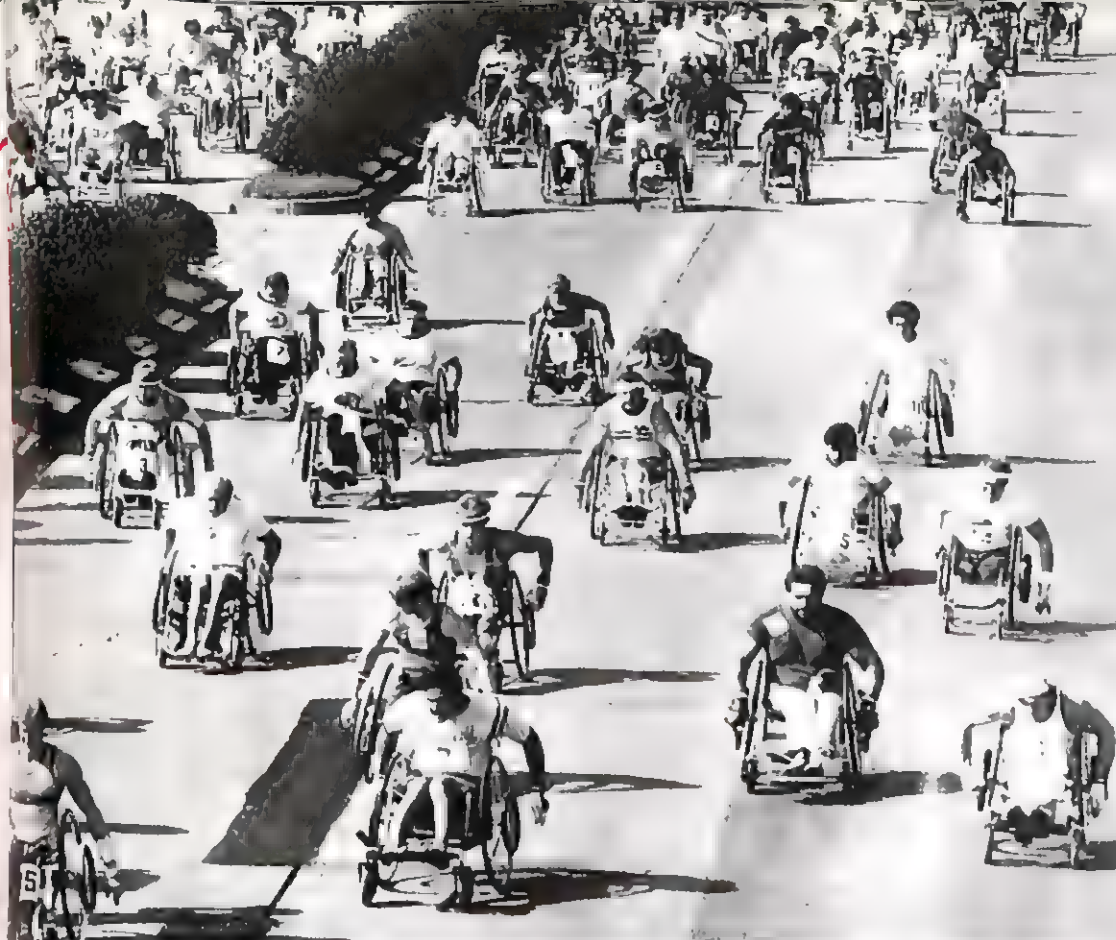
- 昭和56年10月
- 1 国鉄「フルム」入線、グリーン・ハム・車、政府、常用ダイヤ表一四五号を内閣告示。
 - 2 金 米大統領、核戦力強化五カ年計画を発表。初世松本白鸚、九世松本幸四郎・七世市川染五郎、歌舞伎座で舞踊興行。
 - 3 土 通信衛星を用いて初めて日米で医学シンポジウム開催。
 - 4 日 社会党本部大会、協会派と反協会派に分裂。
 - 5 月 国立がんセンターの平山雄、味噌汁が胃がん、心臓病の死亡率を下げるという説を公表。
 - 6 火 エジプトのサタト大統領、狙撃され死亡。
 - 7 水 都内勤労者実質収入が六カ月連続前年比減少。
 - 8 木 金色流行で流行台協会が「初の現象」と新聞に。
 - 9 金 フジテレビ、ドラマ「北の国から」放映開始。
 - 10 土 西独ボネで三〇万人が中距離核ミサイル配備反対デモ(西独各地で大規模反核デモ続く)。
 - 11 日 全国大学対抗バレー選手権大会、開催。
 - 12 月 アラファトPLO議長、初来日。
 - 13 火 「しんかい2000」、二〇八メートルに成功。横浜市の米軍小笠原油施設で燃料タンク爆発。
 - 14 水 通産省、本部と加盟店のトヨペットのノランチャイス・チェインの実態調査開始と決定。
 - 15 木 大阪の近畿相模で偽造カネによる一八〇万円の詐欺が判明(一七日平和相模でも詐欺)。
 - 16 金 北炭タ張新鉱でガス突出事故、九二人が死亡(28日坑内に五九人残したまま注水開始)。
 - 17 土 彦根市の名神高速で八台車突走、一六八人死傷。
 - 18 日 中小企業の春闘闘争、戦後最低と労働者。
 - 19 月 福井県、ノーベル化学賞受賞と決定。東佐野市、空き缶一個、山の回収作戦を開始。
 - 20 火 一七歳の堀田あけみ、アイコ十六歳に文芸賞。
 - 21 水 キリシヤにババードレフ社会主義内閣成立。初の国際身体者技能競技大会(国際アスリートピック)、六ヶ国参加し東京で開催。
 - 22 木 メキシコで初の南北サット開催。
 - 23 金 台風一四号で国鉄麻痺、都内五万戸が断電。
 - 24 土 ロンドンで江戸大美術展、開幕。
 - 25 日 巨人、日本ハムを破り、年がわり日本一。
 - 26 月 機密データに常務取締役・岸上重工業社長、肝首が初めて年収一億円、国民生活。
 - 27 火 肝首が初めて年収一億円、国民生活。
 - 28 水 肝首が初めて年収一億円、国民生活。
 - 29 木 肝首が初めて年収一億円、国民生活。
 - 30 金 肝首が初めて年収一億円、国民生活。
 - 31 土 肝首が初めて年収一億円、国民生活。

- 昭和56年9月
- 1 大 国営東京競馬場、競馬場、入場券、入場券。
 - 2 水 五都市でタワーマンション、入場券。
 - 3 木 自民党、初の北方領土政策発表、入場券。
 - 4 金 公取委、眼鏡安売りの不当表示、入場券。
 - 5 土 入場券。
 - 6 日 反原発派が、安全なら東京に原発を移転開始。
 - 7 月 八、八月のビール消費量は、入場券。
 - 8 火 一〇〇歳以上、一〇七人、入場券。
 - 9 水 環境庁長官提唱の湖沼サミット、東京で開催。
 - 10 木 日韓定期開航会議、ソウルで、年がわり開催。
 - 11 金 志木市議会、一学生市議、長沼の資格審査。
 - 12 土 都市、市と飲料メーカー、入場券。
 - 13 日 ライト・ミュージック・コンテスト開催、審査員特別賞に九州代表のザ・チェンカーズ。
 - 14 月 国連総会、南アフリカのナミビア独立非難決議。
 - 15 火 日産と西独VW社、生産協力契約に調印。
 - 16 水 陸上自衛隊と米地上部隊、初の共同訓練実施。
 - 17 木 SKD、浅草国際劇場からの独立を決定。
 - 18 金 仏国民議会、死刑廃止案を可決。
 - 19 土 岐阜、西武百貨店と西武、入場券。
 - 20 日 ジャカルタで二万人集め、風揚げ大会開催。
 - 21 月 米最高裁判所の女性判事にS・オコナー、入場券。
 - 22 火 北海道警、釧路、釧路川のサケ密漁摘発開始。
 - 23 水 日産日本問題研究所、英オックスフォード大学内に開所(日産の七億円寄付により設立)。
 - 24 木 三和銀行、採用人数を前年比四割減を発表。教師の車をタイナマイトで爆破。
 - 25 金 宮崎県高千穂町で教師に注ぎ込まれた中、生か教師の車をタイナマイトで爆破。
 - 26 土 宮古市で二四時間、二七・五の雨量記録。
 - 27 日 ぶつ市長選、原子力母港化見直し派が過半数、フランスの新幹線TGV、営業開始。
 - 28 月 クロム職業病訴訟で日本化学工業に賠償命令。公取委、静岡の四建設団体を談合容疑で検査。
 - 29 火 日本特殊陶業、セラミック製エンジンを開発。
 - 30 水 I O C、第二回五輪をソウルで開催と決定。

▶世界初、気球で太平洋横断(11月10日)ロッキー・青木(43)ら4人が三重・長島温泉を離陸。84時間31分後、サンフランシスコ北部に着陸。写真は、御前崎上空を飛ぶ気球。

▶世界で初の車椅子マラソン(11月1日)国際障害者年を記念し、大分市のハーフマラソンコースで実施。13カ国43人の外国人を含む、117人が参加した。優勝タイムは、1時間1分46秒3だった。

▶入場料金半額(12月1日)26回目の「映画の日」をファン感謝デーにして、映画人口の裾野を食い広めようと、この日、都内全館と17府県の映画館で実施。写真は東京・日比谷のあゆみ座前。



▼自動指紋識別システム公開(11月24日)警察庁が日本電気と共同開発、コンピュータが指紋を分類・記憶・照合する。入力1.5秒、照合も従来の30倍速まった。



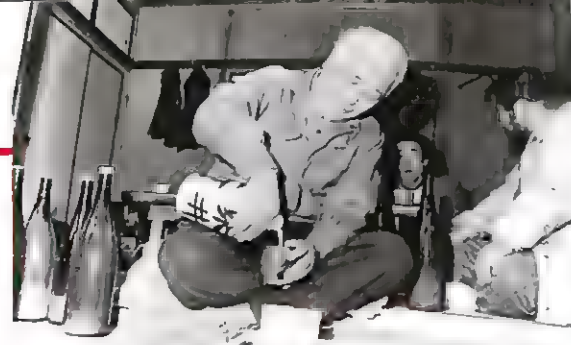
▶大阪空港公害訴訟で最終判決(12月16日)夜間9時以降の飛行禁止と損害賠償について、最高裁は賠償は認めだが、飛行禁止は行政への介入として二審判決を破棄。



▼小佐野賢治に懲役1年(11月5日)ロッキード事件についての国会証人喚問での偽証罪を、東京地裁が認めた。小佐野(64)は国際興業社主で、田中角栄の「割頭の友」と言われた。



▲南極観測船「しらせ」進水(12月11日)「宗谷」「ふじ」に続く3代目。文部省と防衛庁が約244億円を投じて建造し、翌年1月完成した「しらせ」は基準排水量1万1600トン。「ふじ」に比べ破水能力で2倍、馬力で2.5倍にもなる。



時事通信社

▼梅原龍三郎の盗まれた名画(12月8日)昭和47年に盗まれた「北京秋天」(右)と「姑娘」が画廊に持ちこまれ、逗子市の美術ブローカーが逮捕された。17日に本来の持ち主の東京・吉井画廊に返却された。



時事通信社



証言・あの日この日
藤原新也(37)



い巨大な雲塊が膨張し始めているのが見えた(藤原新也「東京漂流」)

写真家・藤原新也の住む芝浦のアパートからは、前年に引退したアイドル歌手・山口百恵の住む高級マンション「ベアシティ・ルネッサンス高輪80」が見える。貧しい木賃アパートから高級マンションへ。それは物質的繁栄を必死に追い求めた戦後の日本の象徴でもあった。しかし、そこにどす黒い雲が……。夕方、藤原は激しい雷雨の中を、この年10月創刊の写真週刊誌「FOCUS」の編集部員との打ち合わせのため外出する。(山崎行太郎)

▼老人福祉の後退に怒り(12月23日)東京・日比谷公園に東京都老人クラブ連合会会員ら500人が結集。22日に示された大蔵省の予算原案の、医療費負担増、年金問題などに抗議した。

▶福井謙一、ノーベル化学賞受賞(12月10日)ストックホルムの授賞式に「フロンティア電子理論」の共同研究者、米コーネル大のホフマン教授とともに出席。63歳。京大工学部教授。



AP WWP

昭和56年11月

- 1日 ●サンカールの金本邦彦、11月通算、100勝達成。
- 2日 ●厚生省、胃がん検診は海軍省と共同で実施。1000人を対象に実施。
- 3日 ●海上自衛隊、相模湾で8年ぶりに駆逐艦「あきづき」の訓練。
- 4日 ●第2次クワッド方式の1路線、発着。
- 5日 ●小佐野賢治、懲役1年、執行猶予2年。
- 6日 ●中野実、元首相の長女、結婚。
- 7日 ●厚生省、人口10万人に医師140人、10万人に1人の割合で医師を確保。
- 8日 ●全国腎臓病患者連絡協議会、腎臓病の予防のため全国一斉に街頭キャンペーン。
- 9日 ●米軍対潜哨戒機、定例訓練を航行中の大井町川に近く、信濃川を航行。
- 10日 ●成田空港に新管制システム「アーツ」完成。
- 11日 ●東大生活調査で5割が冷蔵庫、テレビ所有。
- 12日 ●昭和製金、アルミ不況で大町工場閉鎖発表。
- 13日 ●中野実、元首相の長女、結婚。
- 14日 ●大阪造幣局で50円硬貨の製造開始。
- 15日 ●第一回日本海文化を考えるシンポジウム開催。
- 16日 ●日本・ASEAN開発基金、設立。
- 17日 ●公取委、松戸市のスーパー店での牛乳販売を原価割れの不当販売として摘発。
- 18日 ●東京で貸しレコード絶対反対の決起大会開催。
- 19日 ●電電公社とIBM、特許の無償交換に調印。
- 20日 ●金の小売の価格が前年一月の半値以下に暴落。
- 21日 ●金・水俣病問題関係会議、チンチン救済案を決定。
- 22日 ●東京競馬場で第一回ジャパンカップ開催。
- 23日 ●倉庫市の駅、猫に白痴病流行と学会発表。
- 24日 ●来日中のビートル・カルタン、装幀した堀口大の仏詩集の出版を身障者に寄付。
- 25日 ●水俣病問題、全国的に談話機行と判明。
- 26日 ●井上ひさし、吉里吉里人にSF大賞決定。
- 27日 ●金・自治省、公務員給与を減額しない自治体には特別交付税減額などの制裁措置を表明。
- 28日 ●小佐野賢治、懲役1年、執行猶予2年。
- 29日 ●所沢市の富士見産婦人科事件で卵巣、子宮全摘手術の大半は不要手術だったと判明。
- 30日 ●公文書研究会の生徒が100万人を突破。

昭和56年12月

- 1日 ●横浜駅に全国初のチップ方式トイレ設置。
- 2日 ●東北自動車道で二台連続衝突。二人死亡。
- 3日 ●福岡市金業工務協会、談話問題で解散を決定。
- 4日 ●科学技術庁政務次官の早稲(むつ)は実験船事故が原因と見られ、テレビで発言。
- 5日 ●保険契約者二カ月に自費多額と生保協会。
- 6日 ●根室市で社会党、総評などが日ソ平和条約早期締結、全千島返還要求集会。
- 7日 ●小佐野賢治、懲役1年、執行猶予2年。
- 8日 ●東京芸大への楽器納入取組事件で教授逮捕。
- 9日 ●水俣病問題、全国的に談話機行と判明。
- 10日 ●同和対策策、新規立法が必要との意見書提出。
- 11日 ●西独のシムット首相、東独を訪問。
- 12日 ●菅原文太、ガッツ石松ら「雷おやじ」の会、結成。
- 13日 ●ボートフロント首相ヤルセルスキ、全千島返還要求集会。
- 14日 ●イスラエル、占領下のゴラン高原を併呑し決定(17日国連安保理、併合無効と宣言)。
- 15日 ●民間労働者の統一準備会(決定、三九産産参加)。
- 16日 ●最高裁、一審で原告全面勝訴の大阪空軍基地訴訟、夜間飛行禁止の請求を却下。
- 17日 ●奈良国立文化財研究所、明日香村水鏡池遺跡、日本書紀の中大兄天皇の水時計と発表。
- 18日 ●途上国に類する幼児一七(一万人と一七)セブ薬局相談最多は、漢方薬の副作用、副作用。
- 19日 ●薬師丸ひろ子主演、セーラー服と機関銃、11月11日、前田俊彦、自費製とふくむの利き酒会を開く。
- 20日 ●茨城県議会、海ケ浦沿岸防衛防止条例を可決。
- 21日 ●火、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 22日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 23日 ●水、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 24日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 25日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 26日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 27日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 28日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 29日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。
- 30日 ●金、都電の給電装置、平均四九(九)の故障率、関東地方の中学校校長、ハローワークをめぐり、支部、東京、蔵前署で解散。

儀樂多市

世の中、幼稚だよなあ！

「三語族」。この年には「ウッソー」「ボントー」「カウユーイ」という三語で会話をすませる女の子が異常発生。これが「三語族」で、本人たちにはかわいらしさの表現だったようだが、おとなたちからは社会の幼稚化傾向の表れと言われた。

「粗大ゴミ」。評論家の樋口恵子さんが言い出したもので、定年後、家でゴロゴロしている夫のこと役には立たず、といって捨ててくれる夫という意味で、仕事以外に何の趣味も持たない会社人間の、哀れな末路をさす言葉として広がった。

「マタニティ・ウエディング・ドレス」。妊娠数ヶ月で結婚式をあげる女性が多いのを目をつけた西武デパートが、妊婦専用のウエディング・ドレスを売り出したところ大あたり。婚前交渉が一般化したことの表れとして話題になった。

「良い子悪い子普通の子」。フジテレビの番組から生まれた流行語で、「良い子」と「悪い子」という二分法でなく、「普通の子」の感覚を取り入れた点が若者の共感を呼んだ。

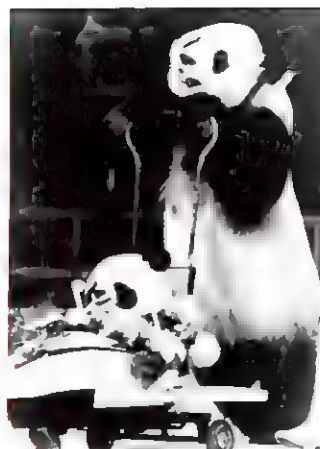
★ サンマは東で牛肉は西 東西食べ物調査

東大理学部の高保幸夫助手（行動計量学）が東日本と西日本の食べ物の消費傾向について発表した。官庁統計をもとにコンピュータで分析したもので、冷凍手段の発達で食べ物が均一化したと言われるが、まだまだ違いは大きいという。たとえばサンマは関東・東北地方、特に太平洋側に多い。牛肉は西日本が多く、東日本は豚肉中心。これは豚肉を食べる習慣が、横浜を中心とした中国人によって持ち



◆沖縄本島北部の山地で発見された新種の鳥が、11月13日、「ヤンバルクイナ」と命名された。共同通信

三面記事 出たあ！ 人工の人魂



▲大阪市の姉妹都市・上海からバンドを含めた曲技団が来日、公演した。

怪談でおなじみの人魂を人工的に作る実験が、本田技研最高顧問の本田宗一郎氏らによって行われた。人魂の発生については、科学者の間でも1発光バクテリアによるもの、2球電・球雷による電気現象、3メタンガスなどの燃焼、

などいろんな説があるが、今回は熊谷清一郎東大名教授、中口博千東大教授らの協力のもと、メタンガス説に従って行われた。実験は埼玉県川島町の荒川の河川敷にレーン敷いて、その上を長さ二・七メートルの「人魂発生車」を走らせる。約一キロ走ったところで、上空に伸びたノズル（ガス噴出口）からガスを放出、点火すると、火はノズル付近の大きな火の玉と、数秒離れたところにできた「人魂」に分かれ、人魂の方はゆらゆらと揺らめきながら、夜の荒川上空を泳いでいった。

（毎日新聞）八月二二日



▲もの珍しさから五〇〇〇〇円自動車人気に。伊勢三輪自動車「パンビーノ」、九万五万円。

社会

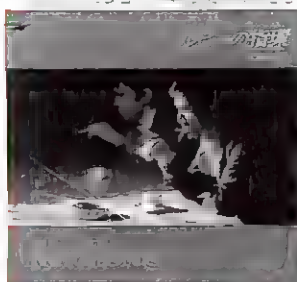
釣銭間違え日本一 国鉄名古屋駅の汚名 (名古屋発) 国鉄（現・JR）名古屋駅の切符売り場（五・一カ所）

犯罪

警告希望の強盗 一次試験バス後に犯行 (京都発) 京都市内のサラ金会社に強盗に入り、五条署に逮捕された男（二四）が、犯行直前に京都府警の警察官採用試験を受験、一次試験（筆記、作文）に合格していたことがわかった。この男は、

同府警の一次試験は、一月四日に行われ、五・三人が受験、この男を含め、三人が合格した。合格発表は、九日だったから、男はその二日後に犯行におよんだわけ

はやり歌



▲俳優・宇野重吉の長男、寺尾聰が歌って大ヒット。日本レコード大賞と日本歌謡大賞を受賞。

ルビーの指環 くらもちの向こうは風の街 問わず語りながら切ないね 枯れ葉ひとつの重さもない命 貴女を失ってから…… 背中を丸めながら 指のリング抜き取ったね 俺に返すつもりならば 捨ててくれ

そんな言葉が頭に渦巻くよ あれは八月 日映い陽の中で 誓った愛の幻 孤独が好きでいいよ 気が変わらぬうちに早く 消えてくれ

くらもちの向こうは風の街 さいたまの紅茶が残ったテーブルで 絆を合せて口唇の人の波に まぎれる貴女を見てた ※そして、年の月日が流れ去り 街でベージュのコートを着た人を見て 指にルビーのリングを探すと 貴女を失ってから…… (※くりかえし)

奥飛騨驛情 風の鳴に、人來て



▲前年に発売された竜鉄也の歌で、この年後半大ヒット。日本有線大賞受賞のミリオンセラー。

竜鉄也 奥飛騨驛情 湯の香恋しい 奥飛騨路 水の流れも そのままに 君はいでゆの ネオン花 ああ奥飛騨に 雨がふる 情けの涙に 咲いたとて 運命悲しい 流れ花 未練残した 盆に 前影揺れて また浮かぶ ああ奥飛騨に 雨がふる



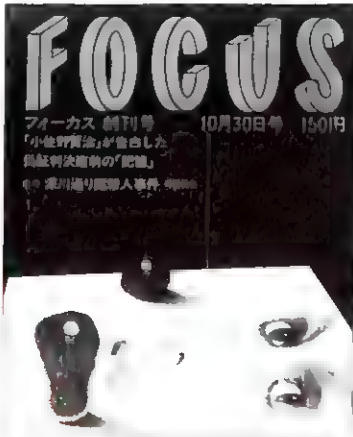
▲「おどろおどろ」のキャラクター、おどろおどろ。おどろおどろは、おどろおどろのキャラクター。おどろおどろは、おどろおどろのキャラクター。

データ

トップは三六三万円 女子の職業別年収 花形の職業は時代によって変化する。特に女子の場合、その傾向が著しい。女子の花形職業の年収を調べたところ、こんな結果が出た（対象：三歳）

- 1 スチュウワートレス：三六三万円
- 2 テレビ・アナウンサー：二四八万円
- 3 グラフィック・デザイナー：一九三万円
- 4 秘書：二七八万円
- 5 グランドホステス（航空会社）：二七四万円

以下新聞記者、雑誌記者と続く（「タカポ」二二・二六日号）



▲初めての写真週刊誌「FOCUS」の創刊号。創刊号は、創刊号の創刊号。創刊号は、創刊号の創刊号。

この年の初もの

カラオケ神社 群馬県沼田市に登場 ●入眠器 すぐに眠れるという器械で、徳島大学医学部の松本淳治教授が開発 ●地震の缶詰 缶を、五秒まわして机の上におくと、ガタガタ揺れるという玩具。アメリカでデビューし、日本に輸入。一九八四年 ●粉末酒 水を注ぐだけで飲める酒で、愛知県の食品会社が開発



▲「おどろおどろ」のキャラクター、おどろおどろ。おどろおどろは、おどろおどろのキャラクター。おどろおどろは、おどろおどろのキャラクター。

キーワードは「永遠の若さ」だった！ 上原謙・高峰三枝子の起用で熟年マーケットを切り開いた フルムーンバス大ヒットの秘密

湯の音、……、……。湯の音



国鉄

昭和五六年一〇月に始まり、またたく間に日本の津々浦々に知れ渡った旧・国鉄の「フルムーン」CM。今まではまったく違うイメージで中高年層をとらえたことで、熟年世代が消費の主力の一人になりうることを強烈に印象つけた初めての広告だった。

「ダイムマシン演出で
昭和一〇年代が蘇る

「国鉄（現・JR）始まって以来の大ヒット」と言われる「フルムーン」は、昭和五六年一〇月一日、駅に貼られたポスターとテレビコマercialで始まった。蒸気機関車をバックにした上原謙（七二）と、そのかたわらで微笑む白いスーツにガルボハット姿の高峰三枝子（六二）。

「振りむけば君がいて」という宣伝コピーがついたこの「フルムーン夫婦グリーンバス」の広告が、テレビCMや駅構内、電車の中吊りに登場すると、昭和一〇年代を彷彿させる顔合わせとファッションに、「懐かしいなあ」と思わず駅で足を止める中高年が後をたななかった。上原といえば、病院長の御曹子が幼児を抱えた看護婦（田中絹代）と恋に落ち

が「本物です」と断言する「シリコン騒動」まで起きた。こうした騒ぎも手伝って、翌年は前年を上回る約六万六〇〇〇組が発売され、国鉄は四九億五〇〇〇万円を売り上げるのである。

フルムーンキャンペーンを
成功に導いた真の理由？

「フルムーン」のキャンペーンが始まったのは、高齢化社会の到来を目前に、いわゆる「シルバーマーケット」が注目され始めていた時期だった。

昭和五五年の四五歳から七四歳までの人口数は全体の三六・五割を占め、五年後には三九・六割に増加。六〇年には「シルバーマーケット」の規模が三九・三兆円と、全消費市場の三割を占めるようになるという予測されていたのである。

「この業界もこのマーケットを虎視眈々とねらっていました。その中で、『中年』を『熟年』と言い換えて、初めて『熟年夫婦に旅を』と提案したのが国鉄だったんです。二人ですこす時間長くなるこれからの人生のために、まずは旅で互

ふたたびの旅。今年も。グリーン車で
フルムーン。

▶国鉄の第2回「フルムーン夫婦グリーンバス」のポスター。第1回の利用者は温泉旅行が多かったため、入浴シーンがポスターに採用された。切符は5000円値上げて7万5000円。

ちる映画「愛染かつら」（昭和三年）で主人公・浩三を演じ、一世を風靡した元祖・二枚目俳優。一方の高峰三枝子も、「暖流」（昭和十四年）で大病院の誇り高き令嬢・啓子を演じて、世の殿方をうっとりさせた往年の大女優だ。

昔の美男美女スターの共演とそのあまりの若々しさに、国鉄には「合成写真ですか」といった声が続出した。浩三と三枝子に胸をときめかせた中高年層が、タイムマシンに乗ったような錯覚におちい

ったのである。この「フルムーンバス」は、年齢合計が「八八歳以上」の夫婦を対象に、二人分の国鉄全線の普通乗車券・特急券・グリーン券をセットにしたもの。二人合わせて七万円（有効期間は七日間）という割安さも魅力だった。その安さもあったが、「フルムーンバス」は、発売九日目

で約六〇〇〇組、キャンペーンが行われた六カ月間では四万六六三組が発売され、約三三億円を売り上げる、大ヒットとなったのである。

ちなみに、利用者の平均年齢は男性が五九・五歳で、女性は一五六歳。アンケートでは、八割が「フルムーンバス」がなければ旅行しなかった」と答え、「結婚三二年目にして初の新婚旅行ができました」という便りも数多く寄せられたという。



振りむけば君がいて
国鉄



▲「フルムーンバス」のテレビCM。上原謙（左）と高峰三枝子（右）

英国の植物学者「コーナー」がたたえた戦時下の「昭南博物館」

佐伯修

「昭和五一年九月、畏友羽根田弥太博士（当時横須賀市博物館長）からの手紙で、同年九月六日に徳川義親元侯爵が亡くなられたことを私は知った。手紙を握りしめ、ケンブリッジ郊外の家をのなかをうろちる歩きまわった。（中略）

日本がシンガポールを占領していた戦時中、あの南の小さな島の片隅に、徳川義親マライ軍政監部最高顧問（彼自身生物学者であった）を中心とする、敵と味方の入りまじった奇妙な学者グループが出現していた。世界じゅうが戦火に燃え、地球が破壊されている最中に、彼らは島の文化遺産を守ることに奔走し、自然科学の諸研究にいそんでいた



▲主著に「マラヤの路傍の木」など。

ルが陥落した際、コーナーは、同市のラッフルズ博物館・植物園に勤務していた。日本軍占領時の混乱により、そこにあった貴重な学術研究資料も危機にさらされたが、その時、たまたまシンガポールに来ていた、火山学者・田中館秀三は、完全な独断で博物館と植物園の軍による封鎖を解除して、コーナーたち捕虜扱いのスタッフ全員もろとも、これを保護、「昭南博物館・植物園」として再発足させることを、とくさきまぎれに軍に追認させてしまったのである。

その後、両施設の位置づけは、尾張徳川家一九代当主の侯爵・徳川義親が正式な館長に就任することで確固たるものになり、そこでは、コーナーが述べているとおり、敵味方隔てのない研究者の友情がつつかわれた。一方で、コーナーは、日本将兵の粗暴なふるまいや、日本軍に殺害された華僑と見られるおびたしい屍、そして、コーナー自身が、無防備状態の日本軍士官を殺そうと考えたことなども、包み隠さず書きとめている。そのうえでなお、彼は両施設を守り抜き、黙々と去っていった一群の日本人の勇気をたたえ、言う。

「国家も、政府も、そして民族も、繁栄しては衰退し、そして破局を迎える。だが、学問はけっして滅びない」



▲昭和58年1月、東京競馬場に登場の「シルバーシート」。65歳以上の入場者に322席を設けた。

いを見つめなおそうとね」

制作を手がけた電通クリエイティブ統括局主幹の小田桐昭氏は、そう振り返る。当時の旅行業界は、戦前・戦中に青春時代を送り、夫婦旅行に照れや強い抵抗感がある中高年層を攻略しかねていた。

そこに、国鉄の「フルムーン」が、上原、高峰という両スターの起用により、孤独、疎外感といった形容詞でとらえられがちだった中高年イメージを完全に払拭。空前のヒット商品になると、老人専用の旅行代理店を設けた日本交通公社（現・JTB）などの旅行業界だけでなく、電機メーカーが熟年向けの家電シリーズを発売したり、大手出版社が心の豊かさを追求した熟年向けの雑誌を創刊し始める。いわば、「フルムーン」は、熟年層が「消費の主役の一人」たることを強烈に印象づけた、初の広告だったわけである。

しかし、その一方で、このキャンペーン広告に、「あるテーマ」が暗示されていたことが、成功のもうひとつの要因になった、と前出の小田桐氏は打ち明ける。「撮影にあたっては、上原さんと高峰さんをとにかくカッコよく、セクシーに撮

ることに注意しました。『永遠の若さ』という夢を熟年層に与えるためです。そこで、生命力の源ともいえるセックスを、ただでさえ表現できるか、中高年の性欲を刺激できるかが制作陣の隠されたテーマになっていたんです。そういう意味でも、七二歳にして子どもを作った上原さんの起用は理想的でしたね」

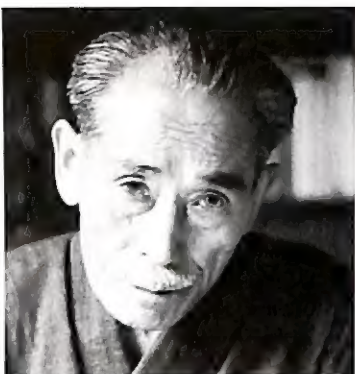
当時は取り上げられることの少なかった「老人の性」をシンボリックに表現し、熟年層の潜在的な性欲を刺激したからこそ、「フルムーン」は社会現象にまでなった（小田桐氏）のである。

こうしてさまざまな面から熟年市場が注目されるきっかけとなった「フルムーン」の広告は、昭和六一年に国鉄が分割民営化された後も続くことになる。ちなみに、現在のモデルは、映画「若人将シリーズ」の加山雄三（現・六〇歳）と、松本めぐみ（現・五〇歳）夫妻、奇しくも、最初の「フルムーン」旋風から、六年たった三代目のイメージガッパルを、上原謙の長男夫婦がとめている。



▲昭和55年の敬老の日、大阪のデパートで催された「シルバー・ウーマン・ファッションショー」。384人が参加した。

往きて還らぬ



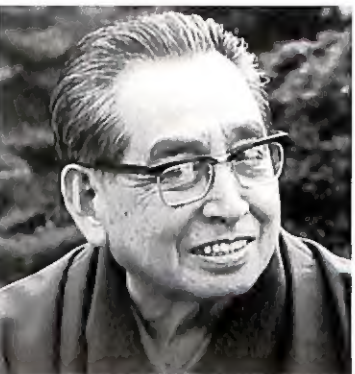
▲3月6日 荒瀬寒村(93)
社会主義者。明治末、社会主義伝道を展開、足尾銅毒事件でも貢献。昭和21年衆議院議員。晩年は文筆活動に専念。



▲3月7日 出光佐三(95)
実業家。明治末期石油販売業を始め、昭和15年出光興産設立。28年イランから原油を買い付け、国際的な話題に。



▲3月14日 ルネ・クレール(82)
仏の映画監督。1930年仏初のトーキー映画「巴里の屋根の下」で世界的な名声を獲得。ほかに「夜ごとの美女」など。



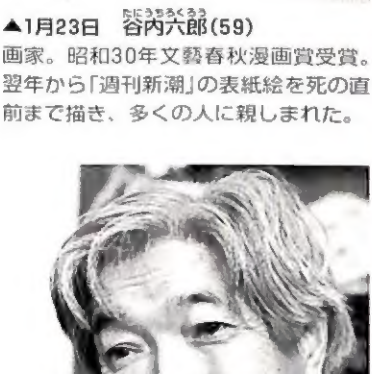
▲3月15日 堀口大祐(89)
詩人。大正8年処女詩集「月光とピエロ」刊行。ほかに多くのフランス文学作品を翻訳、昭和54年文化勲章受章。



▲1月6日 A・クロニン(84)
英の小説家。第1次大戦に軍医として出征。その後創作に転じ、1937年「城砦」、1941年「天国の鍵」を発表。



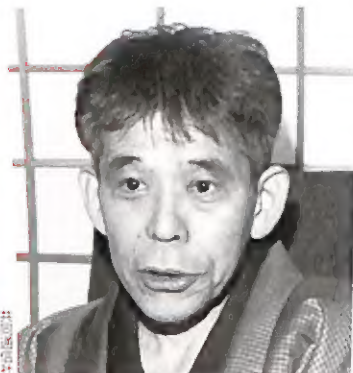
▲1月23日 谷内六郎(59)
画家。昭和30年文芸春秋漫画賞受賞。翌年から「週刊新潮」の表紙絵を死の前まで描き、多くの人に親しまれた。



▲1月30日 宮本常一(73)
民俗学者。全国を歩いて実地調査を行い、独自の「宮本民俗学」を確立。「忘れられた日本人」など著書多数。



▲8月22日 向田邦子(51)
小説家、脚本家。人気テレビドラマの脚本で知られ、昭和55年「花の名前」などで直木賞受賞。航空機事故で急死。



▲10月4日 保田與重郎(71)
文芸評論家。昭和10年「日本浪漫派」創刊、評論「近代の終焉」などで青年層に支持を得た。「現代詩人伝」など。



▲9月8日 湯川秀樹(74)
理論物理学者。元京大教授。昭和一〇年、中間子理論発表、二四年日本人初のノーベル賞受賞。平和運動でも活躍。



▲12月28日 横溝正史(79)
小説家。推理小説の第一人者。探偵・金田一耕助が主人公のシリーズで人気を集めた。「八つ墓村」「獄門島」など。

ス パ ル タ 品 質。

PILOT

跳ね、払い、押さえ。日本の文字の特質を知り 尽くすとペン先はどこまでも鍛えられる。

「永」。この一字の中に運筆のすべてが集約されるという。パイロットは日本人のあらゆる筆致に対応すべく、日本の文字の基本を見つめることから万年筆を開発。まず強度と柔軟性が同時に求められる地金部分は14Kがベストであると判断し、ペンポイントには超硬質の合金イリドスミンを溶接。そして毛筆を思わせる、しなやかさと弾力、滑らかな書き味を具現化し、書き手の嗜好に合わせ8種類のペン先を用意。書くという個性の表現にプロのまなざしと技で徹底的に臨む。これがパイロットの第一義である。

空気の流れ、インキの流れを追求して
いくと溝の切り方にも違いが出る。

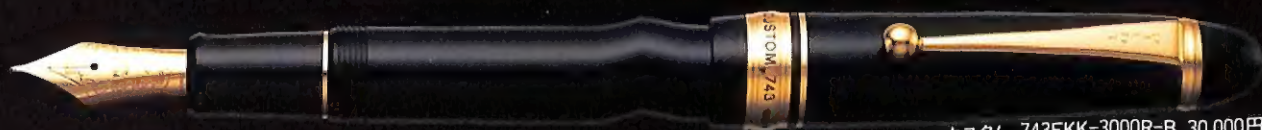
そもそも毛細管現象により、文字が書ける万年筆。そのペン芯は空気溝、インキ溝、余分に流れ出るインキを溜めておく櫛溝から成る。単純な構造だが、それゆえ奥が深い。僅かな気圧・気温の変化でも、インキの流れに影響を与える。

ノボタ落ちがなく、いかなる場合でも最善の書き味を約束するためには、ひときわ精密な溝の設計、細部への入念さが不可欠だ。結果、コンバーターでインキを補充する際、

インキ壺にペンの首までどっぷり浸ける必要がない吸入機構をも実現。精緻であるからこそ、ペン先が紙に当たった瞬間、人間本来の繊細にして温かい感覚が込み上げてくる。それがパイロットの誇りとするところだ。

ステイタスを飾る美しさだけではない。「万年筆であるためには堅牢さも要求される。

鞘、軸と呼ばれる万年筆のボディ。そこにはいつまでも損なわれることのない美しさと強さを求め、アクリル樹脂を採用。ポケットに入れて服地と擦れ合っても、失われない光沢。手に力がこもっても、しなりのある腰。掌になじむ肌触り。それは単なるステイタスシンボルではない、実際に用いられてこそ真価を主張する「万年筆であるために。そしてすべては時代が変わっても裏切ることのない品質のために。ペン先からボディに至るまで一貫生産して世に送り出すこと。これこそパイロットの信念である。



カスタム 743FKK-3000R-B 30,000円

ぬくもりを伝えるものだから、
こだわりを持ってつくりたい。

CUSTOM

<http://www.pilot.co.jp>

シャープペンシル、ボールペンもあります。



カスタム 74HKK-1000R 10,000円



カスタム 74BKK-1000R 10,000円
(価格は税抜き)

